

松本市新庁舎建設市民懇話会

第3回市民懇話会資料

日時 平成30年2月24日(土) 午前10時15分～
会場 Mウイング3階 会議室3-2

資料1	市民等の意見聴取の状況について	1
	庁内ワークショップ	1
	市民懇話会	18
	市民ワークショップ	31
資料2	新庁舎のコンセプトに繋がるキーワードについて	62
資料3	今後の予定について	65

市民等の意見聴取の状況について

1 庁内ワークショップ

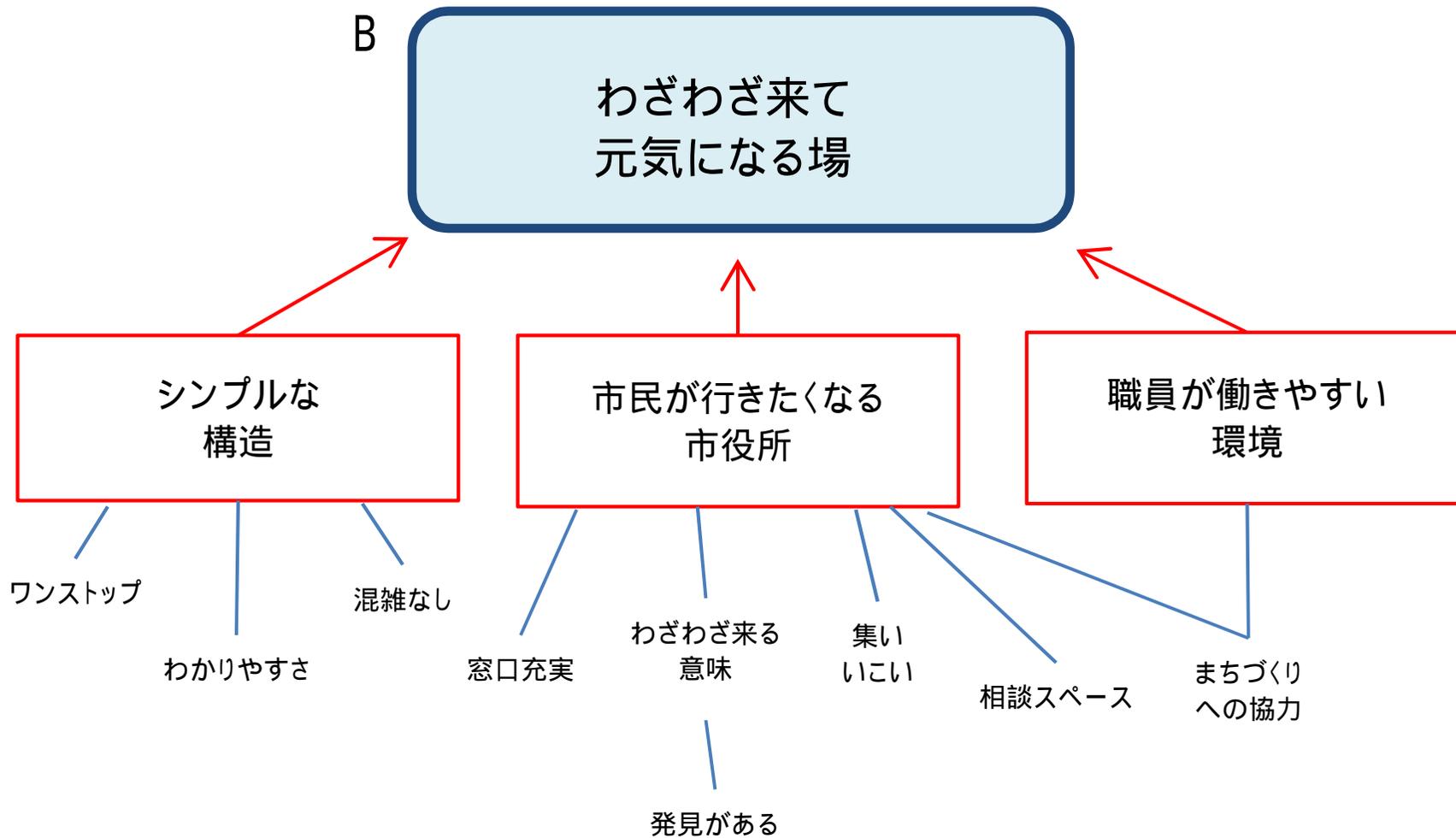
- (1) 実施日 平成29年11月8日、17日、29日の計3回
- (2) 参加者 65人(×3回=延べ195人)
- (3) 実施方法

第1回は新庁舎に求める機能やスペース等について自由にアイデア出しを行い、第2・3回では信州大学と松本市が共同で研究している「フューチャーデザイン」の手法を活用し、現在世代グループは今現在の視点で、将来世代グループは2060年の視点を意識し、新庁舎のコンセプトについて討議を行いました。

フューチャーデザイン・・・現時点の政策課題の検討の場に、将来世代の利益を代表するアクター(演者)を現出させ、世代を超えた持続性に係わる問題の解決を図るための研究

(4) 意見等

グループ	班	メインコンセプト	サブコンセプト(は3回目の主たる検討テーマ)
現在世代	B	わざわざ来て元気になる庁舎	市民が行きたくなる市役所 シンプルな構造 職員が働きやすい環境
	C	みんなが城を好きになる場	どんな人でも使いやすいユニバーサルデザイン 新庁舎と松本城のつながり
	E	フレキシブル	みんながいつでも、いつまでも使いやすい場 職員にとって機能的 市民にとって親しみ易い
	G	職員満足度の向上 = 市民サービスの向上	職員にとって快適な場 市民の協働
将来世代	A	市民・職員・観光客が落ち着く・穏やかな気持ちになる場	松本城と共存共栄するフレキシブルな空間 コミュニケーション重視の業務 市民による市政への積極的な参加 職員の労働環境福祉の向上
	D	自由自在に変わる場 ~コントロールルームだけじゃない~	生き方、働き方の多様化に対応 コミュニケーションの場
	F	灯を囲む 生きがいの場	コミュニティをつくる 市役所は手続きに行く場ではない ボランティアを求める 世代間交流
	H	市民が人のぬくもりを感じられるための後方支援	専門機関を繋ぐハブ化 シンボル化 人からではないと得られないものを提供する場 安心安全の確保 外回りから帰った職員の癒しの場



市民

困っている状況

- ・待ち時間が多い
- ・事務所の配置が分かりにくい
- ・別棟ありすぎ
- ・どこに行ってもわからない
- ・たらいまわし
- ・駅から市役所遠い
- ・車で来るより公共交通
- ・車イスすれちがえない

やりたいこと

- ・タッチパネル
- ・エスカレーター
- ・つながりのある課は近くに
- ・ワンストップサービス
- ・駅前に市民課窓口
- ・駅中に "
- ・バリアフリー
- ・通路広く

高齢者、奈川...

できるだけ具体的に、市民が困っている状況、市民がやりたいと思っていることを列挙してください。

実現するための方法

ソフト

- ・タッチパネル
- ・ワンストップサービス (お客さんを動かさない)
- ・分かりやすい案内人(制服着て)
- ・お得な情報板
- ・来ただけで健康になる
- ・自転車で来た人にプレゼント
- ・コンサート
- ・(五感で)木のにおい

ハード

- ・エスカレーター
- ・広い廊下
- ・職員が集まる窓口 (連携)場所
- ・広いワンフロアー
- ・ウォーキングコース
- ・遠くからきた市民が松本を感じられる展望スペース
- ・市民が使えるスペース
- ・障がい者の販売とふれあうスペース
- ・入ってすぐ事務所じゃないスペース

緑花

市民目線で必要なハード(スペース・デザイン・インフラ)とソフト(組織・制度・ICT・活動など)を列挙してください。

できるようになること

庁舎で迷子にならなくなる
笑顔で帰れるようになる
市民からの提案(地域づくり)自主性がふえる
職員と交流しやすくなる

下のマスで設定した空間や場面に訪れる市民目線で「~ができるようになる」という文型で書き出して下さい。

背景となる課題・問題点

- ・合併により面積が大きい
- ・庁舎が昭和のまま

この部分は上下のマスを参考に、ファシリテーターとグラフィッカーが3つ程度の箇条書きでまとめてください。

新庁舎で実現したいコンセプト

市民が行きたくなる市役所

「ワークから見えてきた 世代の論点」の赤枠内のコンセプトからひとつ選んでください。

具現化した空間や場面

- ・今よりハイテクな技術がある
- ・広く分かりやすい庁舎
- ・1Fのオープンな広いスペースで住民と職員が笑顔で話をしたり、相談している
- ・庁内を笑顔でウォーキングする住民
- ・たくさんの人でにぎわう。市民が何かをやっている
- ・入りやすい。音楽が流れている

コンセプトを最も反映するよう特定のなスペースや具体的な場面を設定してください。

職員

困っている状況

- ・お客さんを待たせる時間長い
- ・狭い
- ・囲まれている。つながり少ない
- ・顔が見える環境
- ・(水道)離れているから知らない
- ・ゆっくり相談できる場所がほしい
- ・汚い(くもの巣、ほこり)
- ・掃除する人員が足りない
- ・配線むきだし

やりたいこと

- 短くしたい ipad
- ワンストップサービス
- 壁ぶちぬく
- 本庁ごちゃごちゃしてる
- 壁の色
- 相談室ほしい
- 維持管理しやすく

できるだけ具体的に、職員が困っている状況、職員がやりたいと思っていることを列挙してください。

実現するための方法

ソフト

- ・決裁電子データ
- ・書類の電子化 (簡単にして)
- ・自由に使える場所
- ・交通 (市内から市役所までのバス網)

ハード

- ・壁ぶち抜く
- ・相談室
- ・十分なスペース
- ・広く明るい事務室
- ・フリースペース
- ・イベント、展示、情報発信
- ・ほこりのたまりにくい材質

職員目線で必要なハード(スペース・デザイン・インフラ)とソフト(組織・制度・ICT・活動など)を列挙してください。

できるようになること

- ・事務処理が効率的にできるようになる(事務所の中の息のつまる空気が和み)
- ・気軽に上司と意見交換できるようになる
- ・フリースペースに家族をつれて遊びにくることができる
- ・発想が豊かになる
- ・ストレスが軽減されて、よりよい接客ができるようになる
- ・交通の便がよくなってノーマイカー通勤ができるようになる
- ・市民との交流がふえ、winwinの関係になる

上のマスで設定した空間や場面で働く職員目線で「~ができるようになる」という文型で書き出して下さい。

C

みんなが城を
好きになる場

どんな人でも使い易い
ユニバーサルデザイン

新庁舎と松本城の
つながり

相談

窓口

集いの場

子ども
障害
高齢者
観光客

職員

カフェ
レストラン
展望スペース

松本を
知らせる

観光スポット化

市民

職員

困っている状況 やりたいこと

- ・床をあたたかく(職員も)
- ・空調
- ・休憩場所(いこいの場)
- ・身障者用トイレが少ない
- ・エレベーターが少ない
- ・キッズスペース(子どもがいるスペース)狭
- ・授乳室
- ・窓口がわかりにくい コンシェルジュ

できるだけ具体的に、市民が困っている状況、市民がやりたいと思っていることを列挙してください。

実現するための方法

- ・場所の確保
- ・用途に合わせた設計・設置
- ・各フロアにコンシェルジュ

市民目線で必要なハード(スペース・デザイン・インフラ)とソフト(組織・制度・ICT・活動など)を列挙してください。

できるようになること

- ・待ち時間に市民がリラックスできるようになる
- ・松本城を感じる事ができる(スペース)

下のマスで設定した空間や場面に訪れる市民目線で「~ができるようになる」という文型で書き出して下さい。

背景となる課題・問題点

施設の狭あい化

様々な「人」が使うという視点の欠如

この部分は上下のマスを参考に、ファシリテーターとグラフィッカーが3つ程度の箇条書きでまとめてください。

新庁舎で実現したいコンセプト

どんな人でも
使い易い
ユニバーサルデザイン

「ワークから見てきた 世代の論点」の赤枠内のコンセプトからひとつ選んでください。

具現化した空間や場面

- ・職員の危険が減る(ハイカウンター
ローカウンター)
- ・広いスペースがあれば
心がおだやかになる(市民・職員)
- ・音楽
映像 が流れる市役所

コンセプトを最も反映するよう特定のなスペースや具体的な場面を設定してください。

困っている状況 やりたいこと

- ・ロッカー、更衣室が不足
- ・事務スペースが狭い
- ・空調
- ・窓口カウンターが低い(セキュリティ面)
- ・公用車が少ない
- ・ " スペース

・シャワー室

各課に
地下に

できるだけ具体的に、職員が困っている状況、職員がやりたいと思っていることを列挙してください。

実現するための方法

- ・場所の確保
- ・ペーパーレス化による
- ・健康志向の高まり(意識を変える)
- ・用途に合わせた設計・設置

職員目線で必要なハード(スペース・デザイン・インフラ)とソフト(組織・制度・ICT・活動など)を列挙してください。

できるようになること

- ・職員もリラックスできる
- ・職員の危険が減る
- ・クリエイティブな仕事
効率的な仕事 ができるようになる

上のマスで設定した空間や場面で働く職員目線で「~ができるようになる」という文型で書き出して下さい。

E

みんながいつでもいつまでも使いやすい場

職員にとって
機能的

市民にとって
親しみ易い

資料保管
アーカイブ

職員の働き方
の変化

本庁と出張所の
機能の分散・集中

親しみを生み
出す市役所の
条件

集いの場

カフェ

仕事内容の
見える化

頻繁な
ミーティング

可変的な
組織編成

総合相談

市民

困っている状況 **やりたいこと**

- どこにいいかわからない
- たらいまわしになる
- 市民が休める場所がない
- 敷居が高い(閉鎖的)

直感的にわかりやすい
ラウンジ・カフェ
にぎわいが生まれる
様々な世代が来られる
観光客が立ち寄る

できるだけ具体的に、市民が困っている状況、市民がやりたいと思っていることを列挙してください。

実現するための方法

(ハード)
・総合窓口 直売所
・レイアウト (わかりやすいレイアウト)
・ラウンジ・カフェの設置

(ソフト)
・ワンストップサービス
・イベントの実施
・観光情報の提供
・歴史的遺構の活用

・イベントスペース
・城、山並みが見える
展望スペース
" (周りから)
・歴史的遺構の活用

・AIによるサービス
・電子サービス(申請用)

市民目線で必要なハード(スペース・デザイン・インフラ)とソフト(組織・制度・ICT・活動など)を列挙してください。

できるようになること

- 市民が足を運びやすくなる
- 多様な活用ができるようになる(観光客も集まる)
- にぎわいが生まれる
- 市民サービスの向上が図れる
- 市役所に手続きのために来なくてもよくなる

減らせる増やせる

下のマスで設定した空間や場面に訪れる市民目線で「~ができるようになる」という文型で書き出して下さい。

背景となる課題・問題点

- 庁舎が狭い
- 事務室の配置が分かりにくい

この部分は上下のマスを参考に、ファシリテーターとグラフィッカーが3つ程度の箇条書きでまとめてください。

新庁舎で実現したいコンセプト

みんながいつでも
いつまでも使いやすい場

「ワークから見えてきた 世代の論点」の赤枠内のコンセプトからひとつ選んでください。

具現化した空間や場面

- お役所的な雰囲気なくなる
- お城と一体化した空間
- 色々な人が行き交う
- 市民が使うスペース
- オープンな場で市民と一緒に仕事をする
- 個人情報としてクローズな場との使い分け
- セキュリティが確保されたオープンな空間
- 例にでも使えるオープンなスペース(足したり減らしたりできる)
- 来たいから来る

柔軟

時代に合わせて

コンセプトを最も反映するよう特定のなスペースや具体的な場面を設定してください。

職員

困っている状況 **やりたいこと**

- 事務スペースが狭い
- 引越が多い
- 打合せスペースが少ない
- 着替えスペースが少ない
- 書類の保管場所がない
- 事務室のセキュリティ
- 冷暖房が悪い

フリーアドレス
気軽に打合せできる
ラウンジ・カフェ
ボックススペースの確保

できるだけ具体的に、職員が困っている状況、職員がやりたいと思っていることを列挙してください。

実現するための方法

(ハード)
・フリーアドレス
・フレキシブルなレイアウト(仕切りがない?)
・ラウンジ、カフェ
・入退室管理

(ソフト)
・行革(部、課の物理的なまとまり)
・ICT化

・業務用エレベーター
・バックスペース(書庫、着替え)
・冷暖房(個別の)

電子化

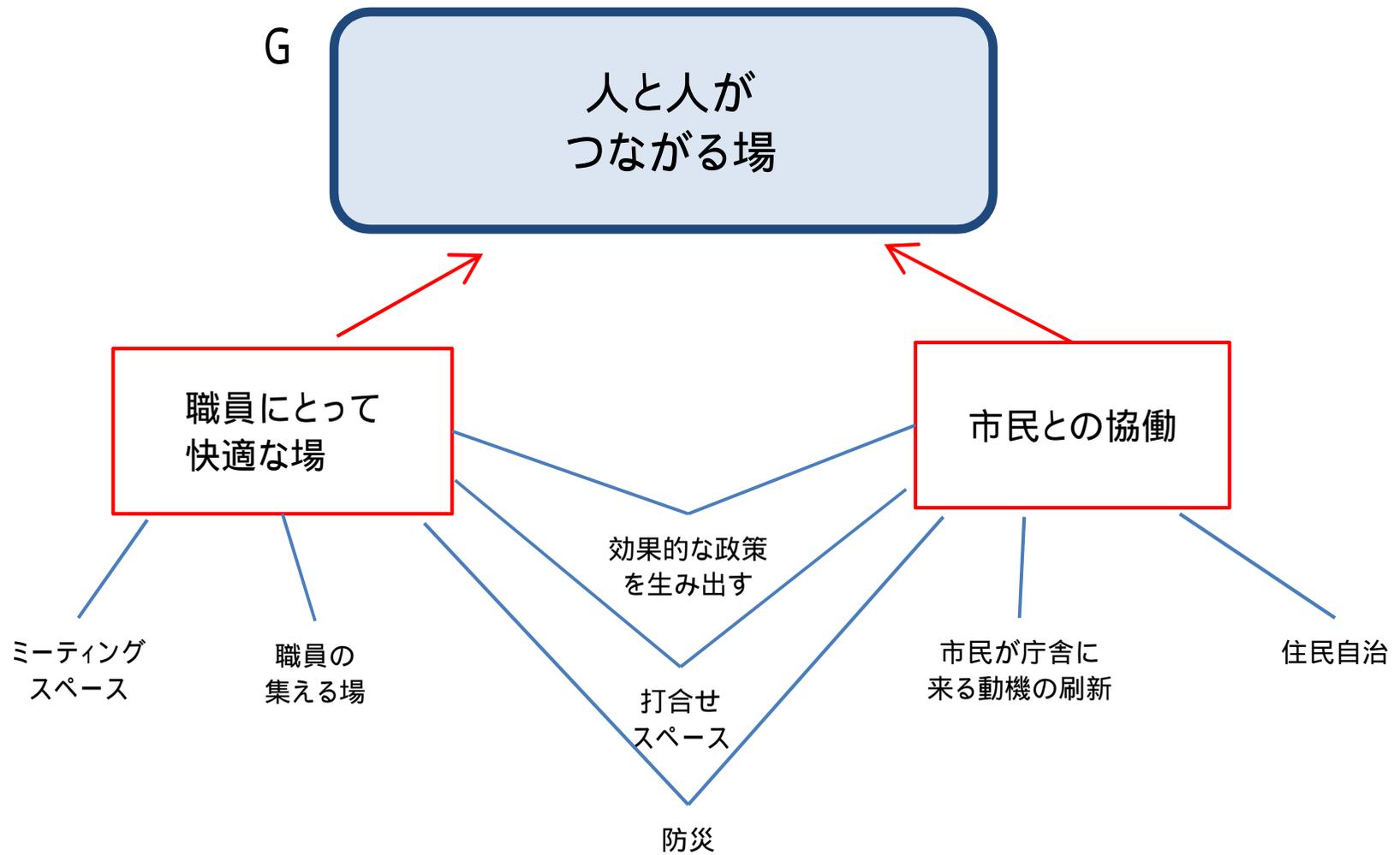
職員目線で必要なハード(スペース・デザイン・インフラ)とソフト(組織・制度・ICT・活動など)を列挙してください。

できるようになること

- モチベーションがあがる
- 業務効率があがる
- 残業が減る
- クリエイティブな仕事に集中できる
- 多様な働き方ができる
- 職員間の交流が活発になる
- 事務スペースが減らせる

減らせる増やせる

上のマスで設定した空間や場面で働く職員目線で「~ができるようになる」という文型で書き出して下さい。



市民

困っている状況 やりたいこと

- ・廊下にモノが多い
 圧迫感
- ・昼休みに訪問しにくい
- ・開かれた市役所ではない

できるだけ具体的に、市民が困っている状況、市民がやりたいと思っていることを列挙してください。

実現するための方法

- ・寛容植物を置く
- ・景観を楽しめるづくり
- ・オープンカウンター
- ・広いエレベーター
- ・感知式電灯・LED

市民目線で必要なハード(スペース・デザイン・インフラ)とソフト(組織・制度・ICT・活動など)を列挙してください。

できるようになること

- ・気持ちよく市役所を訪れることができる

下のマスで設定した空間や場面に訪れる市民目線で「～ができるようになる」という文型で書き出して下さい。

背景となる課題・問題点

- ・資料が紙ベースで、スペース不足を招いている
- ・執務スペースと休憩スペースが区別されていない
- ・会議室が少ない

この部分は上下のマスを参考に、ファシリテーターとグラフィッカーが3つ程度の箇条書きでまとめてください。

新庁舎で実現したいコンセプト

職員にとって
快適な場

「ワークから見えてきた 世代の論点」の赤枠内のコンセプトからひとつ選んでください。

具現化した空間や場面

- ・展望レストラン(兼打合せ場所)
- ・執務スペースが明確化されている
- ・フリーアドレス、ペーパーレス

コンセプトを最も反映するよう特定のなスペースや具体的な場面を設定してください。

職員

困っている状況 やりたいこと

- ・書類に埋もれている
- ・会議・打合せスペース不足
- ・資料が紙ベースのため活用しにくい
- ・モノが多く、迎える態勢ではない
- ・更衣スペース等・執務スペースとの区別がない

できるだけ具体的に、職員が困っている状況、職員がやりたいと思っていることを列挙してください。

実現するための方法

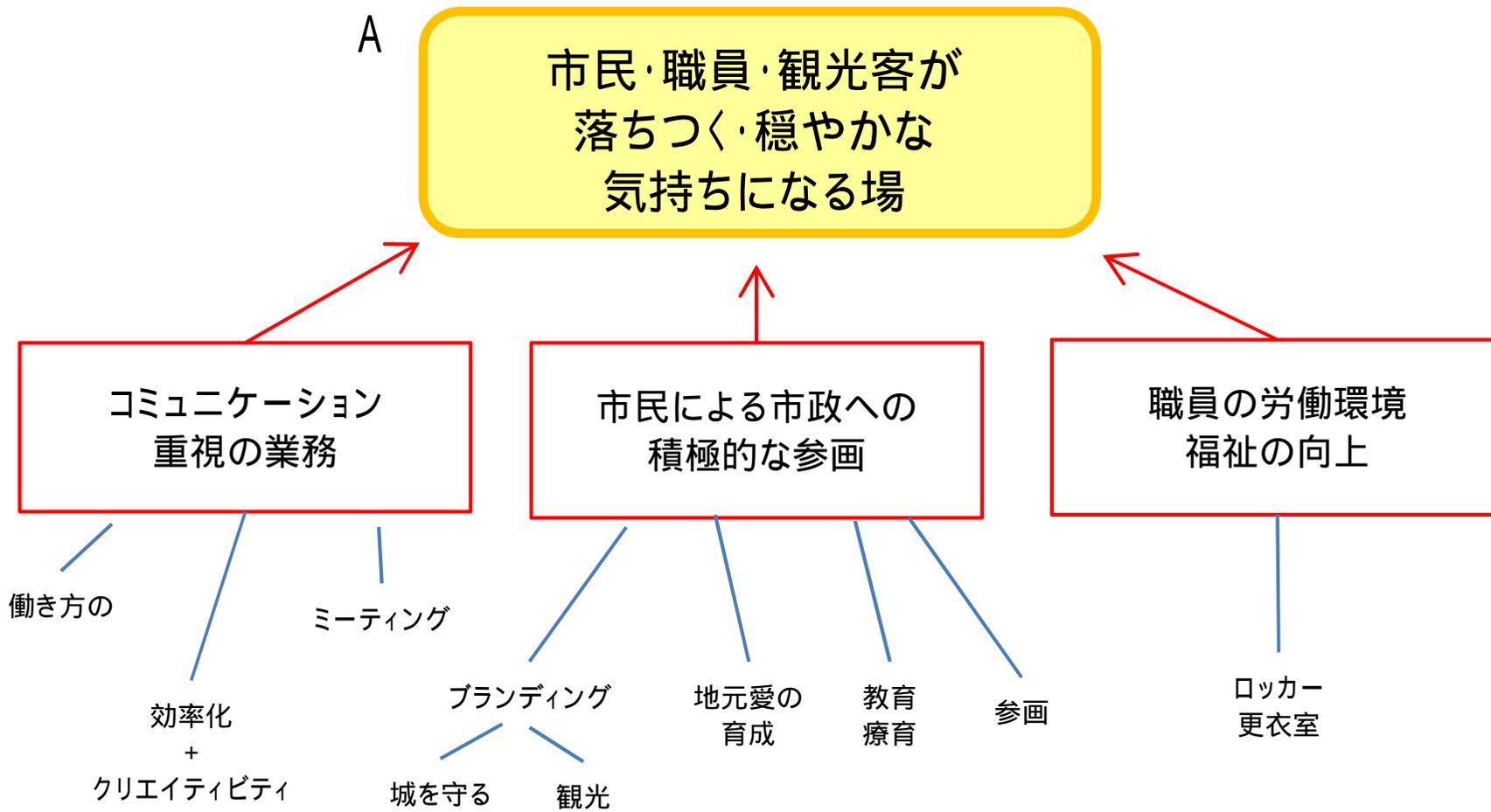
- ・市民の立ち入れるスペースと執務スペースを分ける
- ・モノを置かない、減らす
- ・会議室使用状況が確認できるシステム
- ・会議でのイス使用禁止

職員目線で必要なハード(スペース・デザイン・インフラ)とソフト(組織・制度・ICT・活動など)を列挙してください。

できるようになること

- ・十分な打合せスペースが確保でき、職員の意味疎通が活発となる
- ・検索が容易・働き方改革

上のマスで設定した空間や場面で働く職員目線で「～ができるようになる」という文型で書き出して下さい。



市民

困っている状況 やりたいこと

できるだけ具体的に、市民が困っている状況、市民がやりたいと思っていることを列挙してください。

実現するための方法

市民目線で必要なハード(スペース・デザイン・インフラ)とソフト(組織・制度・ICT・活動など)を列挙してください。

できるようになること

下のマスで設定した空間や場面に訪れる市民目線で「～ができるようになる」という文型で書き出して下さい。

背景となる課題・問題点

- 良好なロケーション
- 配慮(城から見えた時の市役所) お城とマッチしていない
- 点での整備(時代、面)・長期的視点
- 民間からしたら・・・もっと可能性があるはず
- 博物館とのからみ
- 市街地に療育施設がない

市役所じゃなくてもいいけど市街地にもあるといいよね

共存
景観
共栄
経済

この部分は上下のマスを参考に、ファシリテーターとグラフィッカーが3つ程度の箇条書きでまとめてください。

新庁舎で実現したいコンセプト

市民による **松本城と**
市政への **共存・共栄する**
積極的な参画
フレキシブルな空間

「ワークから見てきた 世代の論点」の赤枠内のコンセプトからひとつ選んでください。

具現化した空間や場面

屋上レストラン 展望台 最上階の活用
最低限必要なもの 将来を見据えると・・・

AI等の導入も見越したフロア AI・職員数
交流スペース ↓
新たなスペース

コンセプトを最も反映するよう特定のなスペースや具体的な場面を設定してください。

職員

困っている状況 やりたいこと

将来世代 { 今後職員減
市役所(本庁で人がする)機能減

できるだけ具体的に、職員が困っている状況、職員がやりたいと思っていることを列挙してください。

実現するための方法

- フロアの提供(大家さん) 改装してもらったり入札して1番高いところに貸し出す レストラン
- 市役所の機能が縮小した場合に切り貸し できるようなづくり
- 部長たちが並んでいた方がよい 部長室
- 屋上の活用 専用エレベーター

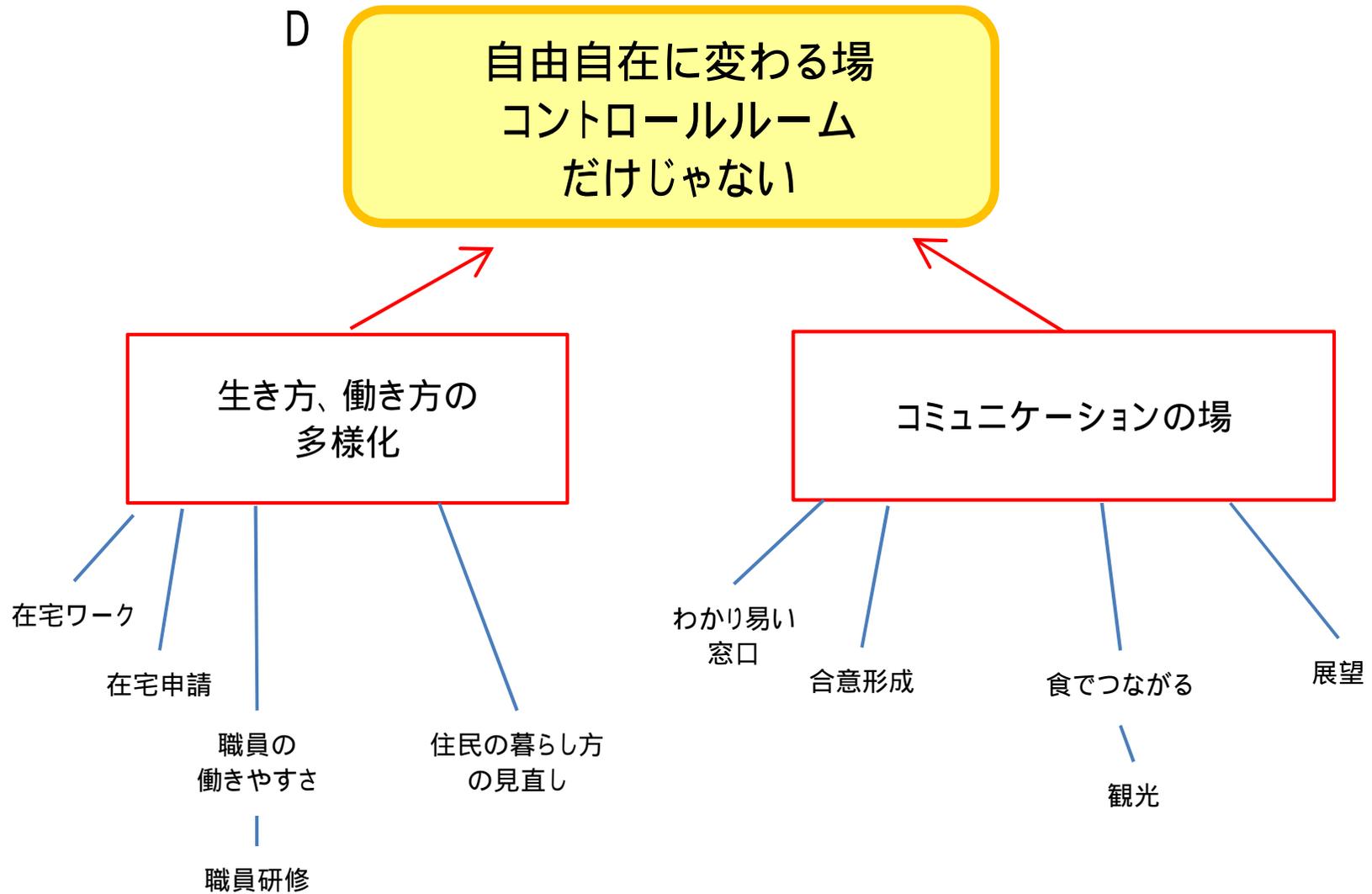
職員目線で必要なハード(スペース・デザイン・インフラ)とソフト(組織・制度・ICT・活動など)を列挙してください。

できるようになること

立地・スペースの有効活用
松本城からの
& 松本城の眺望を良好に

(学生が勉強できる)、市民交流が活発になる

上のマスで設定した空間や場面で働く職員目線で「～ができるようになる」という文型で書き出して下さい。



市民

困っている状況 やりたいこと

地域でできること少 市でやってくれ

職員数 サービス縮小

・スペース的に使にくい ← スペース足りない? 役所を利用する目的の多様化変化

できるだけ具体的に、市民が困っている状況、市民がやりたいと思っていることを列挙してください。

実現するための方法

・コミュニティの継続 (使える人は使う)

・IT化ゆえに弱者の窓口を残す (IT社会への対応)

・自宅から相談(オンデマンド)

・健康の保持(オートメーション化ゆえ)

市民目線で必要なハード(スペース・デザイン・インフラ)とソフト(組織・制度・ICT・活動など)を列挙してください。

できるようになること

1人の市民に対し、一度に多課職員が対応

「人対人」の行政サービスを受けられる(他市町村が変わっていても)

IT技術を利用できる市民は来庁の手間がなくなる(24H、土日祝日も)

下のマスで設定した空間や場面に訪れる市民目線で「～ができるようになる」という文型で書き出して下さい。

背景となる課題・問題点

・役所を利用する目的の多様化(子育て、高齢者)

・仕事量は増加するが職員は減る

・職員数が減ればサービスは低下

この部分は上下のマスを参考に、ファシリテータとグラフィッカーが3つ程度の箇条書きでまとめてください。

新庁舎で実現したいコンセプト

生き方・働き方の多様化(に対応できる)

「ワークから見えてきた 世代の論点」の赤枠内のコンセプトからひとつ選んでください。

具現化した空間や場面

おじいちゃんは家でIT化された手続きができない。自動運転の車で役所に来て、人のあたたかみの中で、困っていることくみあげてくれる職員に対応してもらった。

コンセプトを最も反映するよう特定のなスペースや具体的な場面を設定してください。

職員

困っている状況 やりたいこと

職員数 市民からの要望

仕事 新たな仕事

IT 電子機器のメンテ大変 ← 法律は増える一方事務処理 トラブルの高度化

できるだけ具体的に、職員が困っている状況、職員がやりたいと思っていることを列挙してください。

実現するための方法

・可変的役所

・業務単純化 (できるかぎりIT対応)

・ITの専門職

・在宅ワーク推進(テレワーク)

・手続き単純化

・サービス拠点の分散化(地域づくりセンター的な)

・統率する担当

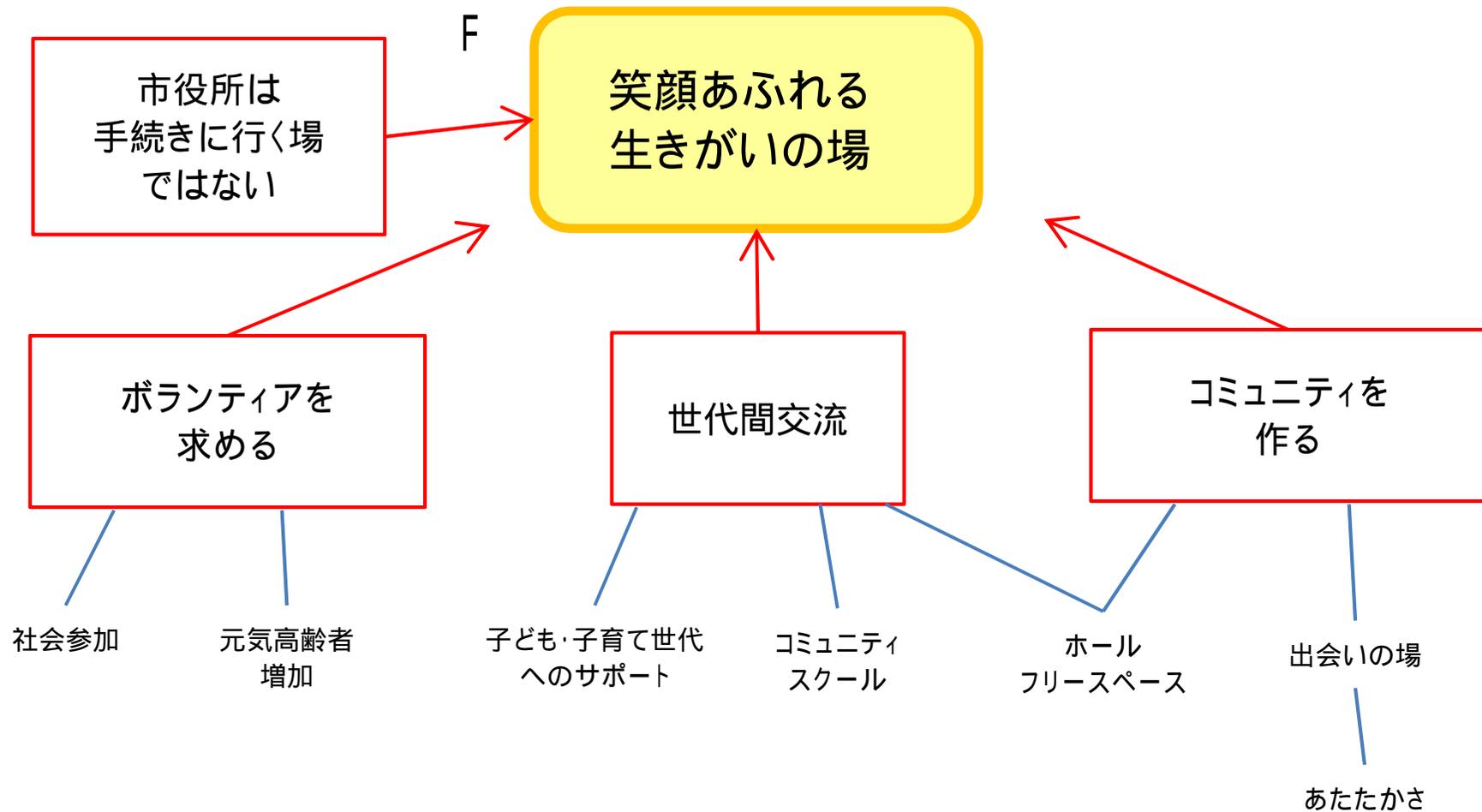
職員目線で必要なハード(スペース・デザイン・インフラ)とソフト(組織・制度・ICT・活動など)を列挙してください。

できるようになること

・IT化、AIで処理できる仕事は手離し、「人対人」業務へマンパワーをそそぐ

・プライベート時間も増える

上のマスで設定した空間や場面で働く職員目線で「～ができるようになる」という文型で書き出して下さい。



市民

困っている状況 **やりたいこと**

- ・空家増 (居住地域20%減)
- ・高齢化、少子化 (若い人に助けてもらえない)
- ・税負担 (増) - 年金 (減)

**社会参加
ボランティア**

できるだけ具体的に、市民が困っている状況、市民がやりたいと思っていることを列挙してください。

実現するための方法

フリースペース
いろり
展望レストラン

市民目線で必要なハード(スペース・デザイン・インフラ)とソフト(組織・制度・ICT・活動など)を列挙してください。

できるようになること

- ・火(実物)を体験できる体験が必要
- ・用がなくても市役所に行くようになる (ひとつの行楽)
- ・出会いの場

下のマスで設定した空間や場面に訪れる市民目線で「~ができるようになる」という文型で書き出して下さい。

背景となる課題・問題点

人との交流が少ない
元気だけどすることがない
労働人口減による 税収減
負担増
市役所は手続きに行く場ではない

この部分は上下のマスを参考に、ファシリテーターとグラフィッカーが3つ程度の箇条書きでまとめてください。

新庁舎で実現したいコンセプト

コミュニティをつくる

「ワークから見えてきた 世代の論点」の赤枠内のコンセプトからひとつ選んでください。

具現化した空間や場面

囲炉裏(薪ストーブ)

コンセプトを最も反映するよう特定のなスペースや具体的な場面を設定してください。

職員

困っている状況 **やりたいこと**

- 若手職員 少
なり手がいない
- リストラ?!
人がいらなくなる? どう生き残るか?
- 税収 (減)

**- お金を稼ぐ活動
・副業
・不動産業**

できるだけ具体的に、職員が困っている状況、職員がやりたいと思っていることを列挙してください。

実現するための方法

テレビ会議室
相談窓口は残る(いろり?)
地下シェルター(危機管理機能)

職員目線で必要なハード(スペース・デザイン・インフラ)とソフト(組織・制度・ICT・活動など)を列挙してください。

できるようになること

- ・市民との交流が増える
風通しがよくなる
- ・地産地消(岩魚、おやき、...)
- ・人工食物栽培

上のマスで設定した空間や場面で働く職員目線で「~ができるようになる」という文型で書き出して下さい。

H

人のぬくもりを感じる場

シンボル化

変わらないもの
歴史 観光 展望
価値

専門機関を繋ぐハブ化

情報発信
フリーアドレス

人からではないと
得られないものを
提供する場

子育て
ぬくもり
食
プライバシー

安心
安全の
確保

災害対策

外回りから
帰った職員の
癒しの場

出張所・支所の
重要化

市民

困っている状況 やりたいこと

- ・相談場所がわからない
- ・複雑、重い案件をどこへ相談していいか、...
- ・ぐちを言う場が欲しい
- ・子供の事を気にせず手続きしたい

できるだけ具体的に、市民が困っている状況、市民がやりたいと思っていることを列挙してください。

実現するための方法

- ・ワンストップ
- ・自分のところまで職員が来てくれる

市民目線で必要なハード(スペース・デザイン・インフラ)とソフト(組織・制度・ICT・活動など)を列挙してください。

できるようになること

本庁に来なくても解決することができるようになる

下のマスで設定した空間や場面に訪れる市民目線で「～ができるようになる」という文型で書き出して下さい。

背景となる課題・問題点

- ・本庁に来ないと対応できないことが多い
- ・本庁と出先の連携不十分

この部分は上下のマスを参考に、ファシリテーターとグラフィッカーが3つ程度の箇条書きでまとめてください。

新庁舎で実現したいコンセプト

専門機関を繋ぐハブ化

「ワークから見えてきた 世代の論点」の赤枠内のコンセプトからひとつ選んでください。

具現化した空間や場面

- ・市民はでかけてこなくても高度な対応をしてもらえる
- ・人に対応してもらえる(職員)

ぬくもりを感じられ

コンセプトを最も反映するよう特定のなスペースや具体的な場面を設定してください。

職員

困っている状況 やりたいこと

専門性の高い案件に対応できない(職員だけでは)

できるだけ具体的に、職員が困っている状況、職員がやりたいと思っていることを列挙してください。

実現するための方法

- ・出先で得た情報を正確に提供できるシステム
- ・専門家につなぐことのできるネットワーク
- ・出先の職員の対応能力向上
- ・ICTを使える能力、ICTの充実

職員目線で必要なハード(スペース・デザイン・インフラ)とソフト(組織・制度・ICT・活動など)を列挙してください。

できるようになること

支所でできないことが補える
迅速に適切な機関
職員につなぐことができる

上のマスで設定した空間や場面で働く職員目線で「～ができるようになる」という文型で書き出して下さい。

2 市民懇話会

- (1) 開催日 平成29年10月27日、12月17日の計2回
- (2) 委員数 20人
- (3) 意見等

第1回では、委員から現庁舎を見学後の感想や新庁舎への期待について意見を伺い、第2回では、以下の3つのテーマについて予め委員に整理を頂いた意見に基づき、新庁舎のあり方について意見交換を行いました。

<p>市民がサービスを受ける場所・職員が働く場所として</p> <p>機能分散 業務分析、組織の見直し等により、他の場所の方が便利な機能は他の庁舎等に移すことで利用しやすくなる。 出先機関をネットにつなぐ、働き方を変える、などで機能分散 地域づくりセンター等での身近なサービスが充実すれば、市民は本庁舎に来る必要がなくなり、庁舎はコンパクトにできる。 先を見据えた機能の再配置 小さいが高性能で役に立つ市役所（庁舎） 機能的なフロア配置やデザイン 市民・職員にとって快適で分かりやすい 関係部署はできるだけ同じ階に配置（ワンフロアサービス） 組織の見直しや各部署の連携強化によるワンストップサービスの実現 受付機能の向上 職員の仕事場ではなく、市民に寄り添う場所へ サービスを受ける人にとって一番良いデザイン 弱者の利用しやすさを最優先し、マイノリティ重視を目に見える形で実現 ユニバーサルデザイン 職員の退庁時に机上に何も残さない。情報の仕分けと管理がしっかりされる。</p>
<p>松本の地域特性や周辺環境を考慮して</p> <p>松本城との一体感 松本城のそばにある庁舎とはどのような建物がよいか 松本城の景観に合った庁舎 眺望・立地を生かし、観光資源として考える。 松本固有の自然環境を生かす 太陽光を始めとする自然エネルギーの活用 クリーンな空気（外気）</p>
<p>子どもや孫、その先の世代を見据えて</p> <p>フレキシブル 庁舎内の配置を自由に変えやすい サステナブル 100年、200年使い続けられる 長い目で見てお財布にやさしい 地球環境への配慮 市民と行政との共創・協働 市民ができることは市民がやる。そのために、市民と職員が話しやすい空間づくりが大切 多様な行為が生まれるインターフェースのような存在。まちと人の接続装置 中間的な空間を設けることで、新しい機能を付加</p>

第1回松本市新庁舎建設市民懇話会会議録

- 1 開催日時
平成29年10月28日(土) 午後2時～4時
- 2 開催場所
松本市役所 本庁舎3階 大会議室
- 3 出席委員
河西 史郎委員、倉澤 聡委員、坂井田 金一委員、佐藤 人実委員、
下笹 玲奈委員、高倉 万記子委員、田下 光委員、土屋 澄彦委員、
寺内 美紀子委員、西村 昭太委員、萩原 梢委員、福嶋 良晶委員、
前田 紳一委員、松尾 朗子委員、松山 紘子委員、武者 忠彦委員、
村山 忠勇委員、渡邊 幸夫委員
- 4 欠席委員
田邊 愛子委員、宮澤 信委員
- 5 松本市出席者
菅谷市長、山内政策部長、横内政策課長、宮尾課長補佐、加島主査、
伏見主任
- 6 結果概要
 - (1) 開会
(事務局) 資料1 松本市新庁舎建設市民懇話会設置要綱について説明
資料2 松本市新庁舎建設市民懇話会委員名簿の確認
委嘱状の交付
 - (2) 市長あいさつ
 - (3) 委員・事務局職員紹介
 - (4) 会長・副会長の選出
会 長：信州大学経法学部 准教授 武者 忠彦委員
副会長：松本市町会連合会 副会長 土屋 澄彦委員

(5) 議事

ア 市民懇話会の趣旨について

- (事務局) 資料 1 3 新庁舎建設ロードマップについて説明
資料 1 2 平成 2 9 年度会議日程について説明
資料 3 新庁舎建設の検討経過について説明
資料 4 庁舎の現状について説明
資料 5 新庁舎の規模の試算について説明
資料 6 現在地で改築した場合の最大延床面積について説明
資料 7 立地適正化計画の都市機能誘導区域と誘導施設について説明
資料 8 市民等から意見を受けた建設場所(現在地以外)の検証について説明
資料 9 松本市役所新庁舎建設候補地検証委員会からの意見書について説明
資料 1 0 現在地の庁舎用地としての評価について説明
資料 1 1 新庁舎建設に係るこれまでの主な市議会一般質問及び答弁内容について説明
資料 1 4 事務室配置図について説明
- (会長) 事務局の説明について何か質問はあるか。
(委員) 用地の取得を予定している場所はどこか。
(事務局) ロードマップを作成した時点で想定したものであり、現在必ずしも想定があるわけではない。周辺にご迷惑が掛かる場合もあると認識しているため、必要に応じて相談したい。
(委員) 周辺の民有地取得を考えた方がよい。
(委員) 建設場所が決定している前提は理解したが、5 0 年先を見込んで建設場所を決めたのか。5 人の検証委員会委員は、市民意見をどの程度把握して決定したのか。
(会長) ここでは事実確認に止めたい。
(委員) 非公開の部分はあるか。
(事務局) 特にない。
(委員) 機能分離を念頭に入れて、今後意見を述べてもよいか。
(事務局) 松本市は 3 5 地区それぞれに地域づくりセンターや、一部には支所・出張所機能もあり、引き続き必要と認識している。機能分離に関する意見も出してよい。
(委員) 今後予定されているワークショップはどのような形式、位置付けか。各地区で分散して行うのか。

(事務局) 日程は未定だが、年明けに実施を予定している。自由参加で、市民の皆さんが使う部分のご意見を聴きたい。市内全体から集まっていただくことを想定している。

(委員) 議事録は記名で公開するのか。

(事務局) 無記名としたいが、いかがか。

(会長) 無記名での公開でよい。

イ 現庁舎見学

事務局の誘導と案内により、委員及び傍聴者が現庁舎（本庁舎・東庁舎）を見学した。

ウ 意見交換

(会長) 現庁舎を見学した感想、今後に向けての意見をいただきたい。

(委員) 非常に立地が良いことを実感した。ここにあるべき機能と移管できる機能を研究しながら、よりよい選択をしたい。美しい展望や眺望をアピールできるレストラン等の場所があるとよい。

(委員) 立地が良い。もっと市民の方が来て政策形成に関わる拠点となる可能性を持っている。一方、現庁舎は事務室が書類で雑然としており、チームで仕事ができる環境にない。掲示物も来庁者にきちんとメッセージを伝えられていない。これを機にしっかりと改善する必要がある。

(委員) ワークショップでは、中学生や高校生など若い世代を呼び、自由な意見を聴く機会を与えてほしい。

(委員) 市役所をよく利用するが、東庁舎1階と2階の配置が分かりにくい。地図を見れば、すぐに行きたい場所が分かる新庁舎を期待している。

(委員) 文書の乱立が目についた。セキュリティ上は、鍵のかかるキャビネットに入れる必要があると思う。新庁舎にもスペースの余裕がある訳ではないので、そろそろ紙の文書をなくすことを真剣に考えてはどうか。

(委員) 機能が複雑に入り組んでいる。職員同士で働く場所に関して話し合う機会を設けた方がよい。人口減少を見据えたうえで、床面積の試算をした方がよい。

(委員) 「市役所」という建物は、基本的にオフィスとして効率良く作られていれば、特段何かをする必要はない。この懇話会の委員の皆さんを見ていると、それだけでは満足できない様子で、

何をそんなに求めているのか逆に新鮮で感心する。松本の人はずただの市役所では満足できないというのが、非常に興味深い。同じ規模や人口でも、この熱意が他の自治体にあるとは思えない。「市役所に何を求めるのか」「市役所とは何か」について、全国にもインパクトのある市役所を考えられれば面白い。

- (委員) やはり狭いと感じた。車いすの方が安全に移動するのが難しい。スロープはあるが斜度がきつく、上がれない方もいるのではないか。物理的な障害物はないのが望ましい。また、福祉関係課が一か所にまとまっているとよい。
- (委員) 新庁舎は低くなり横に広がると思うが、行き先が確実に分かるような案内図が必要。
- (委員) 狭あい化が顕著だと感じた。
- (委員) ヨーロッパの市庁舎は100～200年使うのが当たり前で、市の中心部に風格ある建物として残っており、市庁舎の前には広場があり、地下にはラーツケラーという市民が集まれるところもある。50～60年持てばいいという考えはおかしいと思う。地震に耐える躯体をしっかり作れば、100年後でも内部のレイアウトを変えればいい。建替えるのは行政の非効率であり、費用の無駄使いに通じる。
- (委員) 他市町村の庁舎を見る機会が多いが、最近建て直された新庁舎でも目に付くところがあるので、これから建てる松本市のために意見を述べていきたい。
- (委員) 子ども関係課もワンフロアにしてほしいと常々思っている。そこに保育士が常駐するキッズスペースがあり、窓口から子どもの様子が見えると、子ども連れでも来庁しやすくなる。
- (委員) オフィスとしての機能は当然必要だが、市民のお城を作るつもりで臨みたい。松本城に負けなくらいの庁舎を作りたい。増やすばかりでなく減らすこと(スクラップ)も考えるべき。行政サービスを考え、まずソフト面を議論したうえでハード面を論じた方がいい。また、信州は木材が豊富なので、木造でもよいのではないか。
- (委員) ユニバーサルデザインの視点で見ると、現庁舎は100点満点中20点。サインの位置が高すぎるうえ、色が不適切。ワークショップでは、さまざまな障害のある方の意見を吸い上げて反映してほしい。当然、外国人も増える想定になる。また、50～60年後の人口推計の資料がなければ、50～60年後に

必要な設備や広さ等を提案できないので、資料を示してほしい。

- (委員) 市民委員は応募時に作文を提出している。名前を出す必要はないが、第2回市民懇話会での意見交換の参考に、事前資料としてもらえるとありがたい。
- (会長) 市民委員の作文は共有してもよい。人口推計等の資料は最低限にして、各委員が個別に調べたものを共有したい。
- (委員) 会議は今後も土日開催か？
- (事務局) 今年度はその予定。30年度以降は、皆さんの出席しやすい日時に調整したい。
- (委員) 新潟県庁は1980年代に移転して非常に立派なものがあった。当時は新潟県にバブルの気風があったが、最近急速に新潟市の衰退が進んでいる。長く使える市庁舎をという意見とは矛盾するが、身の丈に合わない立派すぎる建物は、衰退した時に惨めな象徴になってしまう。松本市の将来をしっかりと見据える必要がある。
- (委員) 「市役所がこんな場所になったらいい」という議論をしっかりと深めたい。興味深い資料があれば、各委員から事務局へ出していただき、事務局からも事例を共有する工夫ができたらいいい。
- (会長) 次回まで日数もあるので、委員から事務局に情報を提供し、共有するルートを確保したい。今日委員から出された意見は、大きく分けて3つの話題だったかと思う。1点目は、オフィスとして効率的、安全で、わかりやすい、使いやすいこと。2点目は、まちづくり的な視点で、公共空間としてここをどう考えるのか。特に、この場所にあることの意味は何か、場所の文脈や可能性を考える必要がある。3点目は、長期的な視点に立った市役所のあり方とは何かということ。このあたりを第2回以降も議論していきたい。
- 次回は、12月17日(日)10時15分から開催したい。第1回市民懇話会の議事を終了する。
- (事務局) 委員の皆様には、あらためて意見の記入用紙を送付するので、提出をお願いしたい。必要な会議資料等についての要望、委員間で共有したい情報も事務局へ寄せてほしい。現庁舎に欠けている部分ですぐに直せる部分是对応したい。長時間にわたりご意見をいただき感謝申しあげる。以上で、第1回市民懇話会を終了する。

第2回松本市新庁舎建設市民懇話会会議録

- 1 開催日時
平成29年12月17日(日) 午前10時15分～12時
- 2 開催場所
松本市役所 本庁舎3階 大会議室
- 3 出席委員
河西 史郎委員、倉澤 聡委員、坂井田 金一委員、佐藤 人実委員、
下笹 玲奈委員、高倉 万記子委員、田下 光委員、田邊 愛子委員、
土屋 澄彦委員、寺内 美紀子委員、西村 昭太委員、萩原 梢委員、
福嶋 良晶委員、前田 紳一委員、松尾 朗子委員、松山 紘子委員、
宮澤 信委員、武者 忠彦委員、村山 忠勇委員、渡邊 幸夫委員
- 4 欠席委員
なし
- 5 事務局出席者
山内政策部長、横内政策課長、宮尾課長補佐、加島主査、伏見主任
- 6 結果概要
 - (1) 開会
 - (2) 議事
 - ア 第1回市民懇話会の会議内容の確認
 - イ 意見交換
(会 長) まず、事務局から説明をお願いします。
(事務局) 新庁舎建設基本構想“理念・基本的な考え方”に関する他市の事例について説明
(会 長) 市民懇話会の現在の目標として、基本構想をこのようなものに集約するというイメージを持ちながら、今日は3つのテーマについて議論していきたい。「市民がサービスを受ける場所・職員が働く場所としての庁舎のあり方」「松本の地域特性や周辺環境に合った庁舎のあり方」「子どもや孫、その先の世代を見据えた庁舎のあり方」の3点について、事前に委員から意見を提出していただいたので、これに沿って一つずつ進めていく。

まず、「市民がサービスを受ける場所・職員が働く場所としての庁舎のあり方」については、庁舎が快適で分かりやすいことが重要との基本的な意見が多かった。市民が利用しやすい環境づくりについてお話しいただきたい。

- (委員) 関係部署は同じ階にあるといい。1階を広くすることが大事。
- (委員) 業務分析を行い、ここになくてもよい機能を外に出すことで、より利用しやすくなると思う。
- (委員) 他の自治体では、市町村合併後に庁舎を統合できない場合、各庁舎間をネットでつないで会議を行っている実績もある。機能を分散させるのはいいことだ。
- (会長) 働き方や組織が変わっていくという指摘についてもお話しいただきたい。
- (委員) 行政はこれから変化していく。求められる職能も幅広くなり、期限付きのプロフェッショナルの雇用等も増えていくと思う。新しい働き方については、民間の経営学や組織論も参考に、職員中心に考え整理されるべき。
- (委員) 各地域づくりセンター・出張所での身近なサービスが充実すれば、一般市民は本庁舎に来る必要がなくなり、庁舎は小さくなくて済む。職員による実情分析、改良点を聞かせてほしい。職員による庁内ワークショップでの意見も反映してほしい。
- (事務局) 庁内ワークショップは11月に行った。次回懇話会では、市が考えるコンセプトのキーワードをお示ししたい。
- (会長) 市民と職員の関係がこれから変わっていくという指摘もあったが、これについてお話しいただきたい。
- (委員) 今後、業務量が減らなければ職員数を減らせない。市民ができることは市民がやることで、財政を圧縮できる。アソシエイトの関係がよい。そのためには、庁舎が市民と職員の話しやすい空間であるとよい。また、職員一人ひとりの知識が豊富で、別の部署に取り次がずに話が済めば、庁舎を分散できる。
- (委員) 福祉分野でも、障害と高齢で変わるだけで話が分からないことがあるので、ワンストップで対応できる、ソフト面の連携強化が重要。また、直営の地域包括支援センターと高齢福祉課が隣同士にあるといい。2025年問題を目前に、地域包括ケアシステムの重要性が盛んに言われている。市がリーダーシップを取ることが大事。
- (委員) 現庁舎は狭いと感じる。人と接する職場は、気持ちに余裕を感

じられる広い空間だとよい。

- (委員) 現庁舎は、「職員が仕事をしている場所」という印象が強い。話しやすいカウンターや、仕事場という印象を持たれない工夫で、もっと市民に寄り添ってくれる場所だとよい。
- (委員) ユニバーサルデザインが普通のデザインと違う点は「使う人にとって一番良いデザインは何か」を考えること。庁舎のあり方も、サービスを受ける人にとって一番良いデザインを発想すべき。市民が一番不満なのは、市役所でのたらい回し。一か所で全て解決するという組織づくり、サービスづくりを検討したうえで、庁舎はどうあるべきかというハード面を考えるのが、ユニバーサルデザインの基本である。
- (委員) 民間企業のオフィスはIT化や業務の効率化も進み、書類が非常に少なくなっている。前回、現庁舎を見学し、これだけ多くの書類がある職場を見たのは初めてだった。書類があると、キャビネットを置くスペースが必要となり、探す作業も必要、共有化も難しい。書類が減らない理由、改善する余地はあるのか。
- (事務局) 現在は、紙で保存するのが原則となっており、定められた保存年限が過ぎると処分している。市としても、書類の管理手法は課題と捉えている。
- (委員) 松本の季節の特性を利用した、快適な労働環境づくりが必要。松本は晴天率が高いので、太陽光を上手に使ったり、きれいな外気を使ったりして、素敵な環境にするという観点が必要である。駐車場や公共交通からのアクセスも、弱者の利用しやすさを最優先し、逆に健常者には多少不便でも構わないので、マイノリティ重視が目に見える形にする配慮も必要。
- (委員) 1階受付で行き先を聞くと、間違った場所を案内されることもあり、本当に分かりにくい。ワンストップで分かるとありがたい。
- (会長) 1点目の意見をまとめると、市民・職員にとって快適で分かりやすいことがまず基本である。また、先を見据えた機能の再配置、働き方や組織の見直しを前提に考えるべきという意見もあった。ユニバーサルデザインや、市民と行政の関係性が変わっていくという意見もあった。
- (委員) 庁舎3階の渡り廊下で、新庁舎建設を題材に展示・発信してはどうか。未来志向ということで、タクティカル・アーバニズムではないが、トライアルしてフィードバックする仕掛けが大事だと思う。

- (会 長) 続いて2点目「松本の地域特性や周辺環境に合った庁舎のあり方」について考えたい。
- (委 員) 市役所は、使いやすく効率的で快適な機能を満たすだけでは満足されない。この懇話会で、早い段階から「松本城のそばにある庁舎はどのような建物が良いか」ということを検討項目の一つに挙げて議論をし、欲しい姿の合意ができれば、懇話会として一つの成果になるのではないか。それをきっかけに、あれを生かすならこれは我慢しようとか、姿や形が言外に作っていく推進力は大きい。デザインの話は早くから始めることで、さすが松本らしいな、そういうことを大事にしているんだなというアピールになる。
- (委 員) 松本城の背景となる建物が無機質なビルであったら意味がない。やはり松本城との一体感が必要。名古屋城周辺に建つ庁舎は、名古屋城と調和した外壁や屋根のデザインになっている。庁舎からお城が見えれば、観光施設にもなりうる。お城の一部の建物というコンセプトにしたら面白い。
- (委 員) 木材や瓦を使用すれば松本城と一体だという話にはならない。地下駐車場という意見もあったが、松本は水脈が多いので経費が掛かる可能性がある。条件を増やすと、提案が狭まってしまう。設計者の視点を踏まえることも大事。
- (委 員) 松本城を意識しないと松本の特徴は出せない。歴史文化を尊重し、お城の景観に合った庁舎がほしい。木造の庁舎を建てれば、全国に誇れるものになる。
- (委 員) 市役所の機能と、観光スポットとしての機能は、分けて考えなければいけないのではないかと。混在することで無駄が発生したり、必要なものが失われたりしないか。観光も含めて考えてよいか。
- (会 長) 懇話会の中では、市役所の機能以外に、この立地であり得る機能についても議論してよい。
- (委 員) ベルギー・ブリュッセルの市庁舎前は広場になっており、観光客も多い。土日祝日に、松本の農産物等を生産者が直売するスペースを作れば、観光客が生産者と直接対話しながら楽しい交流ができる。松本に来て、アルプスの山々と松本城を見て帰るだけではない、深い満足感を伴った観光になるのではないかと。観光産業は関連業種が非常に多く、環境を汚染しない優れた産業。松本城の隣という立地を生かして、庁舎を観光資源として考えるべき。また、外気を感じられる建物がよい。沖縄県名護市役所には、外と中と「中間」があり、長いひさしの下に日陰があったり、空気

の流れが感じられる回廊があったりする。大都市のオフィスビルとは違う、空気のいい地方都市にふさわしい庁舎のモデルなので参考にしてほしい。外と中を明確に分けるのではなく、「中間」の空間を作ることによって、人々の交流が生まれ、深い時間を過ごせる。

- (委員) 市役所から松本城と北アルプスを眺められれば、松本をアピールできる場所になる。松本城をゆっくり観光できる人ばかりではないので、例えば仕事で松本に来た方の「松本城を少し見て帰りたい」というニーズに応えられるのではないかと。
- (委員) 子どもを連れて市役所を利用した時に、離れたところに車を止めざるを得ず大変だったので、誰でも利用しやすい駐車場が必要。
- (委員) 「環境」には広い意味があるが、地域の環境だけでなく、地球環境への配慮を目に見える形で発信すべき。松本の特性に合った自然エネルギーもたくさんある。また、周辺環境との一体化という点では、現庁舎周辺は車道ばかりで松本城と一体化しにくい。車道や駐車場がどうあるべきか等、周辺環境を含めて考える必要がある。
- (会長) では2点目の意見をまとめると、まず、松本固有の自然環境を生かすということ、そして、松本城との関係をどう考えるか(外観、眺望等)さらに、中間的な空間を設けることで新しい機能を付加できるという意見があった。2点目は、短時間では議論しつくせないで、3回目以降も引き続き議論していきたい。
- では、3点目「子どもや孫、その先の世代を見据えた庁舎のあり方」について考えたい。これはまさしく「未来志向」に関する問いだが、皆さんの意見で一番多かったキーワードは「柔軟性」、社会や経済の変化に合わせて変えられる柔軟な構造であるべきという意見だった。
- (委員) 県外の自治体職員等と意見交換した時、ある市の職員が、将来人口推計の詳しいデータを示しながら、10年、20年、50年先の人口構成を前提に何を考えているのか、自信を持って説明していたのが大変印象的だった。現状把握から、市の庁舎のあり方を見出せると良いと思う。また、庁舎へ入った途端、「子育て」「健康」に注力していることを印象付けることも必要だ。さらに、小～大学生の意見収集や情報交換の場を作ってはどうか。
- (委員) 松本市より大きな市の庁舎を参考にしがちだが、全国の町村役場もぜひ見てもらいたい。人間的にも機能的にも、松本市役所に比べると足りないものだらけだが、町村民との密接な関係やサー

ビスのワンストップ化、有事に備えた広い駐車場など、小さな拠点ゆえの効率を実現している役場は多い。小さい役場のあり方もこれからヒントになる。市町村合併が進んだ時に、逆に拠点が分散する時代が来るかもしれない。小さいが高性能で役に立つ役場とは何かを、今考える時でもある。

- (委員) 将来を見据えるということは、長く持つ建物を考えるのが一番重要。少なくとも百年、二百年使えるような建物を設計すべき。もちろん内装はフレキシビリティが必要だが、躯体の長寿命化は重要だ。木造にこだわるわけではないが、ビルには直交集成材という技術もある。
- (会長) サステナブルな建物は何かというのは大きなテーマだと思う。サステナブルという点で、財政の指摘もいくつかあった。
- (委員) やはり長く使えて、ランニングコストが安く済み、長い目で見た時にお財布にやさしいということが大事。
- (委員) お金を掛ければ良い庁舎はできるが、現実的に今の財政でそれができるのか、建設費が高くなってもいいのかということも頭に入れる必要がある。
- (委員) 「子どもや孫、その先の世代を見据えた庁舎のあり方」こそコンセプトで、一番大きな理念になると思う。先日読んだ「美術館のあり方」に関する新聞記事を紹介したいが、美術館を市役所に置き換えても同じことが言える。「文化施設は新しい場を作ることが大切」で、「ハコから多様な行為が生まれるインターフェースのような存在へ」「まちと人の接続装置として設計する必要がある」という2つの大きな視点が出ている。まさにこのことを、基本構想でうたうべき。
- (委員) 市役所はこの20年、国から仕事が下りてくるのに合わせて部署を作ることが多かった。今後20年も、またどのような仕事が下りてくるか、どのような部署を作る必要があるかは予測できない。庁舎内の配置を自由に変えやすくするのはいいことだと思う。実際、他の自治体では、新たに部署を作るために壁や会議室を作って費用が発生しているところもある。
- (委員) 今進んでいる基幹博物館の建設や、民間企業の社屋建設、まちづくりに関する委員会や関係町会の意見等、幅広い情報を把握しながら、同じ方向へ向かっていきたい。
- (会長) 3点目の意見をまとめると、フレキシブルであること、サステナブルであることがキーワードになるかと思う。

次に、今後の予定について事務局から説明をお願いしたい。

(事務局) 今後の予定について説明

(会長) 何か意見はあるか。

(委員) 資料の事前送付時期を早めてもらいたい。その先駆けとして、メールでの電子ファイルの資料送信を希望する。

(事務局) 対応したい。

(会長) 次回は、2月24日(土)10時15分から開催したい。これで第2回市民懇話会の議事を終了する。

(事務局) 長時間にわたり、さまざまな視点から幅広くご意見をいただき感謝申しあげる。本日いただいた意見を参考に、基本構想の作成に努めていきたい。以上で、第2回市民懇話会を終了する。

3 市民ワークショップ

- (1) 実施日 平成30年1月27日、2月4日の計2回
- (2) 参加者 71人(1回目35人、2回目36人)、職員22人 計93人
- (3) 実施方法

フューチャーデザインの手法を活用し、空間旅行グループは松本市の地理的な広がりを意識しながら、時間旅行グループは過去・現在・未来の地域社会の変化を意識しながら、第1回では「どのような新庁舎を建てるべきか」について討議を行い、第2回で新庁舎のメインコンセプトとサブコンセプトを導出しました。

その後、ワークの意見が把握しやすいように、各グループの進行役・記録役において「マンダラート」に転記・整理しました。

マンダラート：9つのマスにアイデアを整理し、思考を深めていく発想法・思考ツール

(4) 意見等

グループ	班	メインコンセプト	サブコンセプト
空間旅行ワークグループ	A	中信地域の中核的都市として広域連携のハブとなる市役所	松本の歴史・文化を感じさせるランドマーク 本庁舎と共に各支所の機能が重要(集中と分散、本庁には専門性、支所に権限を与える) ハブ機能を備えた広域的な市役所 住民も職員も誇りを持てる庁舎 高齢者・障害のある方にも優しい市役所(バリアフリー、ユニバーサルデザイン) 市民も職員も新しい活動を始められるスタートアップの場(地域活動、情報取得、相談窓口) 将来に負担の少ない市役所(民間活用・連携)
	B	自然と歴史に調和した人が活きる庁舎	開かれ使いやすい庁舎 適切な機能配置による機能強化(支所機能の充実、連携) 歴史や自然を感じられる庁舎(湧水・木に触れられる、お城との調和) 危機管理(拠点機能) しかしサブ拠点も必要 松本城のイメージを壊さない 交流の場 多様な情報支援の場(学びや活動の場)
	C	イノベーションを起こす市役所	多機能 独創性(民間参入) 防災拠点 時代の変化に対応(ユニバーサルデザイン、機能分担) コミュニケーションの場(交流スペース、情報発信、市民ホール) 親しみの湧く(景観、眺望を生かす) 環境配慮(省エネ、蓄エネ、創エネ) 持続可能(フレキシブル、低コスト)

時間旅行ワークグループ	D	シンプルと柔軟性	誰にとっても優しい（配置、施設、災害拠点） 機能の分散と高度化（支所機能の充実） 人と人とのつながりを生む（対話、観光客） 松本城の隣接施設（眺望、調和、交流）
	E	人と人が繋がる 集うことができる場	居心地が良い場（対話、集い、ホール機能） 松本城を生かす庁舎（眺望、観光） イノベーションを引き起こす場 （市民×市民、職員×職員、市民×職員の対話） 松本城の隣にある庁舎（観光、デザイン） 障害者と健常者の垣根をなくすユニバーサルデザイン 行政としての役割を果たす防災機能 環境問題を考えた自然エネルギーの導入 働きやすく、市民サービス向上に繋がる フレキシブルに使える庁舎
	F	世界遺産になる場所に 建てるに値するもの	ゆったり（職員配置数の減、緑、スペース確保） フレキシブルとサステナブル（更新と柔軟） 資源的に自立（災害時に自立できるエネルギー、 ローコスト維持） お城との調和（市民の誇り、分築） 防災拠点（緊急時に自立、中心機能） 機能分散（仮庁舎の活用、現場主義） 市民議事堂（学ぶ場、議論する場）

広域的なブロックの中心都市としての 将来を見据えた機能を果たすべき建物（新しいまちづくり・まちづかいの拠点）

	多様性 (松本には、古さも新しさもある。いろいろあるのが松本の魅力！)	三ガク都を感じさせる建物 (まるごと松本の魅力を感じさせる)
市民が主役！ (ただし市民・議会・市長の役割は違うが協力・連携が必要)	松本の歴史・文化を感じさせるランドマーク	花いっぱい運動を感じさせる建物 (まるごと松本の魅力を感じさせる)
環 (協力・連携が重要)	自由自在に変形できる執務スペース	農作物・特産物をアピールできる (まるごと松本の魅力を感じさせる)

集中と分散	本庁舎には専門性を持たせる	支所には権限を持たせる
支所で周辺住民の意見を吸い上げる	本庁舎と共に各支所の機能が重要	

ICT・AIの発達や業務のアウトソーシング	→市固有業務:減 広域の業務:増←	広域的な連携が必要な分野で中心的な役割を果たす
市内支所とのハブ 広域(市町村)とのハブ	中信地域の中核的都市として広域連携のハブとなる市役所	
市内各地区センターの機能強化	市内及び広域のゆるやかな連携体制を支える	将来起こるであろう課題への広域的な備え

	住民も職員も誇りを持てる庁舎	

松本の歴史・文化を感じさせるランドマーク	住民も職員も誇りを持てる庁舎	
本庁舎と共に各支所の機能が重要	中信地域の中核的都市として広域連携のハブとなる市役所	高齢者・障害のある方にも優しい市役所
中信地域の中核的都市として広域連携のハブとなる市役所	将来世代に負担が少ない市役所	市民も職員も新しい活動を始められるスタートアップの場

税込増	企業誘致	稼げる (テナント、民間活用)
	将来世代に負担が少ない市役所	民間活用
松本駅前以外の交通拠点に (バスターミナル等) ※建設段階から検討		ビジネスとしての利用価値を高める

バリアフリー	ユニバーサルデザインは当たり前	各部局、機能ごとに色分け
	高齢者・障害のある方にも優しい市役所 (バリアフリー)	先進的な都市例 いいものを真似よう (学ぼう)

地域での活動を支えるため、町会との更なる連携を目指す	(野溝にある)起業支援センターの機能があればよい。 (レンタルオフィスの運営など)	1ターン・リターン者の起業、移住窓口
販売が自由にできる出店スペース 出会いの場(婚活)	市民も職員も新しい活動を始められるスタートアップの場	新しい活動を始め際の相談・情報取得・手続き窓口一本化
市民が集えるカフェ、食堂 (眺めの良い)	職員が、部局を超えたコミュニケーションが取れるフリースペース(懇親会などで使える)	起業の際のワンストップサービス(商工会議所のような機能)

自然と歴史に調和した 人が生きる庁舎

	危機管理	Wi-Fiの整備 (市全体)
本庁はハブ(連携)の場所		市内にいくつか拠点を持たせる(ソフト面、ハード面ともにサブ機能も必要)

		誰もが使えるスペース(見晴らしの良い食堂など)
Wi-Fi(情報収集、交流)	開かれ使いやすい庁舎	市民の交流が生まれるスペース
高齢化、人口減、企業減 →わかりやすいサービスの提供(メリット、簡単)	開庁時間、曜日を考える	

学べるスペース(小中学生に参加してもらえる環境)	交流	
市内の公民館活動の情報が集まる本庁で活動できる(多様な支援情報)		市の施策を発信するスペース(3ガク都等)

支所機能の充実を図る(レベルアップ)	窓口や業務のコンパクト化(総合支所…手続きが完了する)	業務連携が重要かつ必須
	適切な機能配置による機能強化	本庁にあるべき機能を考える
		業務に合わせて各地区に移動する

危機管理	開かれ使いやすい庁舎	交流
適切な機能配置による機能強化	自然と歴史に調和した人が生きる庁舎	歴史や自然を感じられる庁舎
	松本城	

湧水を生かす(噴水等で子どもも楽しめ、集まる)		
木を生かす(見た目、触れられる)	歴史や自然を感じられる庁舎	
お城との調和お城を引き立たせる建物(城が主)		

イメージを壊さない	眺望	
	松本城	

支所の充実、分散	観光客への配慮 (地域情報の一元化、ライブカメラ、外国人対応、展望台)	飲食 (眺望の良い、観光客の立ち寄る)
民間参入 (セキュリティ対策、時間外利用)	多機能	楽都 (コンサートスペース、議場の活用)
本庁機能 (何を残すか)	利用者を支える機能 (託児、総合案内、機器、ワンフロア・ワンストップ)	避難所

名前 (市役所も、課も)	民間参入	デートスポット
	独創性	

観光客も含めた収容	多国籍対応	核シェルター
	防災拠点	

機能分担	ユニバーサルデザイン (間仕切りの充実、箱はしっかりしたもの)
時代の変化に対応	職員の働きやすさ (保育所、男女比の変化、トイレ)
	国宝松本城を生かす (城内にあることを意識、世界遺産との関連)

多機能	独創性	防災拠点
時代の変化に対応	イノベーションを起こす市役所	コミュニケーションの場
親しみの湧く	環境配慮	持続可能

広報機能 (市役所の理解来やすい工夫)	働きやすい職場 (会議・交流スペース、Wi-Fi、フリーアドレス)	オープンとセパレート (プライバシーへの配慮)
観光対応 (多言語対応、IC端末)	コミュニケーションの場	情報発信 (ライブカメラ、眺望、観光案内)
市民ホールとして	案内システムの導入 (タッチパネル、コンシェルジュ)	来たらいい来てもいい (休日、時間外の開放、付加価値)

景観、眺望、立地を生かす	ワンフロアワンストップ	城の一部 (三の丸)
観光客にも親しまれる	親しみの湧く	

省スペース (支所への分散)	省エネ (断熱、採光、機器、建築素材、ペーパーレス化、情報共有システム)	長寿命化 (廃棄物を出さない)
蓄エネ	環境配慮	再生可能エネルギー(創エネ) (太陽光、地中熱、雨水、小水力発電)
合理的な構造	交通対策 (支所の充実＝車を減らす工夫 定期便の巡回)	景観への配慮 (色、形、材質) → 城への配慮

フレキシブル	低コスト (建設費、維持費)	
松本城内	持続可能	

シンプルと柔軟性 ムダがなく応用が利き、しかし合理的を求めすぎないシンプルさ 予測できないもの、その時代時代に対する柔軟性

来やすい	食堂	災害拠点 (避難所:観光客、 帰宅困難者 災害時に職員が詰 めて対応できる)
トイレ (親子で入れる、 子ども用補助便 座)	誰にとっても やさしい	子どもを連れて 来やすい
平面 (できるだけ移動し ないで用が済む)	見通しがいい (ガラス張り)	案内システム

展望食堂	松本らしさの 分かる場所	建築美 (調和、邪魔しな い)
展望台 (無料で入れる)	松本城の 附属物	
ふれあう場所	私たちの 心の拠り所を 活かすもの	

松本城から 来やすい 観光客の動線 →市民とふれあう	将来薄れてしまう (かもしれない) つながりを生む	イベント、モール
観光客を誘致	人と人とのつな がりを生む	困った人が 対面で相談できる (テクノロジーを 使えない人)
		イス、ソファなどが あるといい

α + 市役所 α の方が 大きいかも	ハブとしての機能	支所機能の高度化 → α の スペース捻出
おもしろいもの	市役所 + α 機能の分散と 高度化	本庁 = 支所機能 + サーバ室 市長室 議会
	自分の身近ででき ることばかりなら 市役所には来ない かも	

誰にとっても やさしい	松本城の 附属物	人と人とのつな がりを生む
市役所 + α 機能の分散と 高度化	シンプルと 柔軟性	シンプル × 柔軟性

ムダがない	汎用性 どうにでも使える	応用がきく
	シンプル × 柔軟性	≠ 合理化
		壁が 付け替えられる 柱がいらぬ

人と人が繋がる 集うことができる場

いつも誰かがいて何かをやっている(人の温かさを感じることができる)	親子が集い、学生が勉強できる場	人と対話することの大切さ、顔を合わせることの大事さ
気軽に無料で使える公共施設ならではの安心感	居心地が良い場	長岡市役所や塩尻市のえんぱーくのような場
訪れる楽しみがある、入れ替わりのあるお店やカフェ	人が自然と集まる仕掛け(入りやすい入口、開放的な構造、外から見える)	気軽に訪れることができる ホール機能(スポーツ観戦や音楽イベントなど)

屋上の芝生化と開放(景色を楽しむ、コンサートでも)	展望レストラン(松本城や北アルプスを望みながらの食事)	観光客向けの農産物販売食の提供
地元産材の活用(木の香りで松本に住んでいることを感じることができる)	松本城を生かす庁舎	観光案内(観光情報、松本の文化を発信)
本庁舎と東庁舎の間の市道いらぬ	外との一体感、松本城を補完する庁舎デザイン	ガラス張りのデザイン(松本城を映す、解放感、入りやすさ、親しみやすい)

誰でも利用でき集える	段差がない	テーブルが自由に動かせる、組み合わせ可
外国人にも優しい(翻訳機能、案内表示、宗教上の配慮)	障害者と健常者の垣根をなくすユニバーサルデザイン	車イス、視覚障害者が利用できる

長野市の門前ぶらざのような場	地域事業者のチャレンジショップ	「市民と市民」の対話が生まれる(親子が集う仕掛け、井戸端会議)
市民、学生、事業者、市職員など、多様な人々が集まれる場	イノベーションを引き起こす場・アイデアを発信できる場	「職員と職員」の対話が生まれる(フリーの打合せスペース)
市民団体の活動の拠点、市民の発表の場	課題解決に向けて市民と職員がフラットな立場で話し合える場	「市民と職員」の対話が生まれる(職員が対話に加わる構造)

居心地が良い場	松本城を生かす庁舎	障害者と健常者の垣根をなくすユニバーサルデザイン
イノベーションを引き起こす場・アイデアを発信できる場	人と人が繋がる 集うことができる場	行政としての役割を果たす防災機能
フレキシブルに使える庁舎	市職員が働きやすく、市民サービス向上につながるオフィス	温暖化、環境問題を見据えた自然エネルギー利用

議場を避難所にするようにする(予め機能を備えておく)	備蓄品	災害に関する情報が入ってくる仕組み
地下の活用核シェルター	行政としての役割を果たす防災機能	

	職員が少なくなった後の空間の利活用	将来的に市庁舎以外としても活用できる
	フレキシブルに使える庁舎	

庁舎機能の分散(市民により近い場でサービスが提供できる)	明るい空間	壁が少ない
	市職員が働きやすく、市民サービス向上につながるオフィス	

太陽光発電	蓄電(災害時にも利用できる)	豊富にある地下水を活用
	温暖化、環境問題を見据えた自然エネルギー利用	

市民が議論しやすい場

木造	カワラ風 太陽光パネル	見た目三の丸
奇抜すぎない色	お城と調和	CIVIC PRIDE 市民の誇り
公園・広場	屋上緑化	分築 (三の丸の街並みとの調和)

申請(使用)を 電子化(簡便化)	プレゼンテーション する場	情報を発信する場
市民活動しやすい 場	市民議事堂	ワークショップする 場
オープン	議論する場	学ぶ場

職員減 (300人減、本庁舎 から郊外へ)	精神的に	廊下の造りを 工夫する
(公園のような) 緑が多い 箱庭	ゆったり	スペース確保 (建物内)
大空間 見晴らしが良い	庁舎間通路 なくす (車両進入禁止 広場の利用)	小さい事務机 フリーアドレス

お城と調和	市民議事堂	ゆったり
	世界遺産になる 場所に建てるに 値するもの	防災拠点
機能分散	フレキシブルと サステナブル (更新と柔軟)	資源的に自立

中心機能 指揮系統	広場	耐震・耐火
倉庫機能 (大型車両が入る)	防災拠点	風呂
地中熱	緊急時に自立 蓄電・貯水・発電	地下水利用施設 (自己消火)

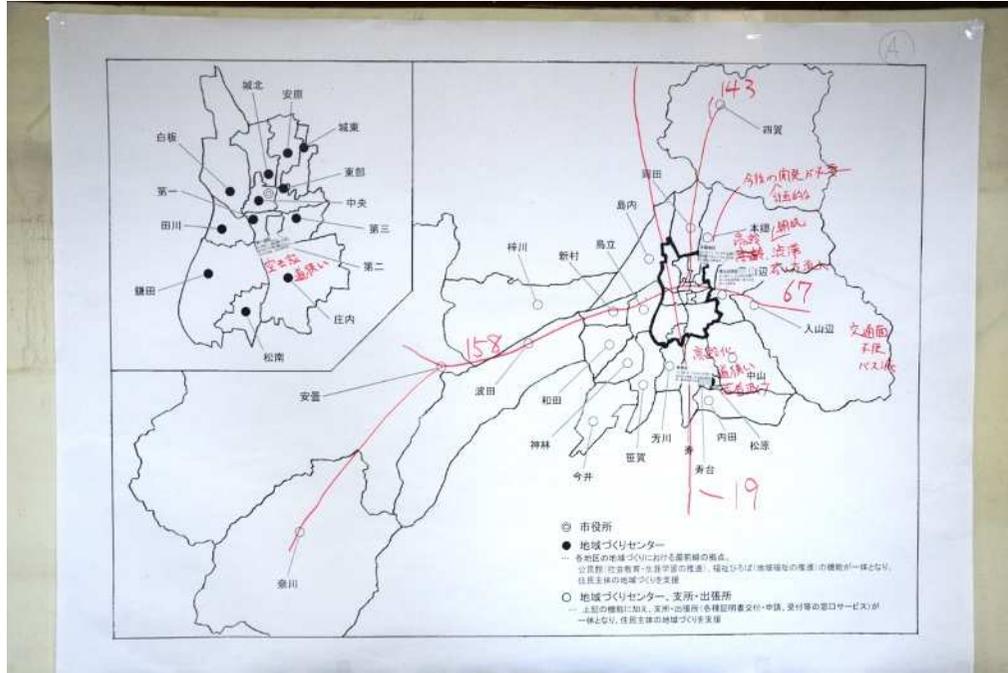
オフィスの機能は 郊外に		住民票・戸籍は 庁舎で取らない (コンビニ等)
中央管理気質から 現場密着主義へ	機能分散	仮庁舎の 有効利用
郊外に図書館・小 中学校・支所の複 合施設		機械的仕事の減

間仕切り 部屋レイアウト 変更しやすい	リノベーション前提	増築・減築 改築しやすい
空いた空間に 商業施設	フレキシブルと サステナブル (更新と柔軟)	経済的に負債にな らない 将来の負担になら ない 計画的に
託児所 食堂 働きやすくなるた めの施設	エネルギー設備 更新	ランニングコスト

	災害時に自立でき るエネルギー	地場産材
地下水利用で 空調費低減	資源的に自立	断熱材 (木材チップ 地産のもの)
維持費に 金掛けない	民間の見本 モデルになるもの (実験的・先進的 モデル)	信大工学部の 知識

第1回市民ワークショップ (2018/01/27)

Aグループ



A 1

どのような新庁舎を 建てるべきか?

背景・理由	コンセプト	方法・空間
<ul style="list-style-type: none"> ・新築する機会が減ったから ・市民が庁舎一番内側に機能的な空間を求めたい ・職員のモチベーションが低い ↓ 行政サービス低下につながる ・セキュリティが低い ・狭い。配線ごちゃごちゃ ・説明・案内不足 ・居圧感 ×モ威 	<ul style="list-style-type: none"> 職員が居る庁舎 あい 笑顔の職員が増える (誇りのもてる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく、きれいな机 ・食堂が ↓ フリーアドレス ・自己置を換える
<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ、良くない (個人情報) ・居圧感がある (窓口) 		

A 2

どのような新庁舎を 建てるべきか?

背景・理由	コンセプト	機能向上	方法・空間
<ul style="list-style-type: none"> ・わかりづらい (課の役割) ・きょうくつ ・そもそも来ない 用事が無い ×モ 	<ul style="list-style-type: none"> 開かれたシティホール 	<ul style="list-style-type: none"> 色分け、デザイン、他都市・プロを参考に ・検索機能 (タッチパネル) ・広報誌の活用 (周知方法の検討) ・社会見学 ・コミュニティスペース (貸会議室) 	

A 3

どのような新庁舎を 建てるべきか?

背景・理由	コンセプト	方法・空間
<ul style="list-style-type: none"> 三の丸地区の再開発 城下町全般の再開発 ×モ 	<ul style="list-style-type: none"> ポテンシャル (立地) を活かす お城を活かす 機能より存在意義 行政サービスだけじゃない 松本のランドマーク (シンボル) 良さを発信出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> お城の眺望 美術館等との連携 観光面との 松本らしさをあしらす 大鎌門 市民活動スペース 観光案内所 城・自然

第1回市民ワークショップ (2018/01/27)

A 4

どのような新庁舎を
建てるべきか？

背景・理由	コンセプト	方法・空間
必要な機能がない ユニバーサルデザインも 考慮した市役所 デザイン性低い 美しくない(耐震) 階段せまい バリアフリーは出来 ない	住民にも職員にも やさしい市役所 (高齢者、障がいのある方にも)	フリエイティブな拠点 (生活力がはじめ される) 起業、活動がはじめられる フリースペース 様々な方が交流出来る アップストリップ窓口 動線配置の工夫

メモ

A 5

どのような新庁舎を
建てるべきか？

背景・理由	コンセプト	方法・空間
少子高齢化進む 人口減少 縮小するもの、拡大するもの の兼ね合い	広域的な市役所 (他市町 村との連携) ハブ機能 中信地区の中核市役所 ランドマーク 後継者世代の負担に ならない	ペパホ ICT化 ↓ 窓口機能は必要 対面 コンシールジュ (統合的な 相談窓口) 専門家の意見

メモ
呼び込み
空洞化対策
中心地の

第1回市民ワークショップ (2018/01/27)

Bグループ



グループB①

課題・問題点

- 人口の減少、空間の狭さ
- 迷うお祭り
- 相談場所がわからない
- 物販の7/11 (地産の産品)
- 今後、IT化促進 (IoT, AI)
- 議場の使い方 (多目的化)

コンセプト

- コンパクト (実現したい場面)
- コンパクトな庁舎
- 市民が新しい庁舎 (種別議員の併設)
- 話しやすい庁舎 (交流の場所)

方法・空間

- お城の活用 (木造)
- フリーアドレス化
- 土地の活用 (空間の確保)
- 各地域センターの活用 (機能分散)
- 外部との関係構築
- この部署の位置を再考

市長 議員は本庁に必要? 他にどこに必要?

守屋野市庁舎 木造の新しい庁舎

グループB②

課題・問題点

- 観光客の増加による景観の悪化
- 景観の悪化
- 高層制限
- 地下は水の問題

コンセプト

- 立地を最大限に活用 (水・緑)
- お城に合わせた庁舎
- 危機管理の強化

方法・空間

- 展望室を設ける
- 城・松林のシンボルを庁舎に活かす
- 中江見下町と似たような庁舎
- 3.11の教訓を踏まえて

松本らしい

- がん・心臓病の医療機関の充実
- 湧水・水辺の活用
- お城の活用

分散させる機能を知りたい、木造の活用も検討したい

グループB③

課題・問題点

- 高齢化
- 議場の使用時間が少ない
- 3つの機能は入らない
- 職員は必要か? 来訪者の対応

使う人(市民)の視点

- 来訪者の視点
- 優しい

コンセプト

- 松本の身元を再現 (1770-2010 松林) 庁舎
- 市の良さを生かす
- 高齢者に優しい (見下町)

方法・空間

- 木造の活用
- 展望室の活用
- 展望室の活用
- 議場を専用スペースではなく、他の場所 (水辺) を活用
- ユニバーサルデザイン
- 西置きの庁舎が重要
- 職員がコンパクトに
- 3つの機能は入らない

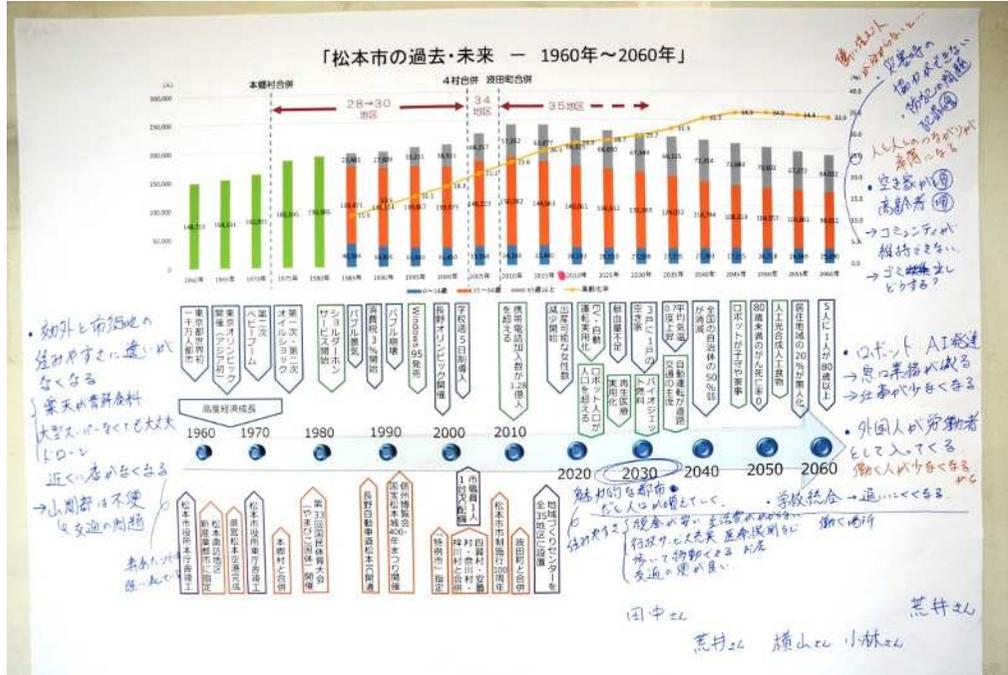
職員は必要か? 来訪者の対応 今日誰か来るか

守屋野市庁舎は空間を有効に活用

飯田市庁舎は木造の活用

第1回市民ワークショップ (2018/01/27)

Eグループ



E班 どのような新庁舎を建てるべきか? ①

背景・理由: 不便さを感じる、石村

コンセプト (実現したいこと・場面): カウンターが少なく、職員が顔に来て、障害者・健常者の垣根がなくなる

方法・空間: ユニバーサルデザイン (誰もが使いやすいデザイン) 行動式カウンター

食事が大事 → 食堂

新庁舎は: 市民の広場である (入りやすい、来やすい、おしゃべりできる風景がある)

暗い → 開けた温かいある庁舎、狭く職員が動きやすい空間 → 明るい、壁が少なく、2F-パルクスの例

松本城がある → 立地を活かすべき → 新庁舎長岡市役所、常緑樹の多い居心地が良い、観光案内所、ガラス張り、開放感、屋上や撮影スポット、市役所前の景色

E班 どのような新庁舎を建てるべきか? ②

背景・理由: 市民課業務が多くなる、職員の交代がスムーズになる、市民と職員が遠隔で話せる、職員が庁舎に近づける、申請・手続きを紙でやる必要がなくなる、テレビ会議がすぐ、同時に話せる、難しい会議は話しやすい

お域を活かす → 分散化 → 庁舎デザイン → 特徴はあっても、メインはあさな、ここが難しい

市民が集える場を作りたい、教員室を分散、よ、市民に近い場所で行うことができる、住民、職員、両者のメリット

人との対話ができる、職員と市民、職員同士、市民同士、直接会う機会が大事

人々を温かいと感じることが出来る

市民が集える場を作りたい、教員室を分散、よ、市民に近い場所で行うことができる、住民、職員、両者のメリット

コミュニケーションスペース、人々との対話、顔を見合わせる、これが大事

木の温もり、人のやさしさ (職員の管理)

E班 どのような新庁舎を建てるべきか? ③

背景・理由: 温暖化、環境問題、外国人が増える、必ず地震がくる

空間において感じる、特別自場所 (二階からの感覚で、見れる、見えない、視覚的)

庁舎内でのエネルギーと見結ぶことができる → 自然エネルギーを極限まで取り入れる

国際化への対応 → ユニバーサルデザイン、人々の思いやりが出来る

防災拠点には絶対必要、分散化、集中させるのは危険、分散化、集中させるのは危険

フレキシブルに使える建物、市役所機能以外の用途に使用

坂井の図書館、木の香り、エキオマツ、安曇野市役所、坂井城が見えるビューポイント、太陽光、地下水利用、電気を、松本は地下レベル、電気を、電気が見えるビューポイント、太陽光、地下水利用、電気を、松本は地下レベル、電気を、電気が見えるビューポイント

フレキシブルな空間構成、電気、水も流れている、倉庫機能、環境フレキシブル、医療、必要に応じて、個人スペース、必要な時に必要に応じて、展望浴場 (展望台)

第1回市民ワークショップ (2018/01/27)

E班 どのよりの新庁舎を建てるべきか？

背景・理由

コンセプト
(実現したいこと・場面)

方法・空間

→ ？

赤掛けがあるから市役所に行く
行けば楽しめる空間

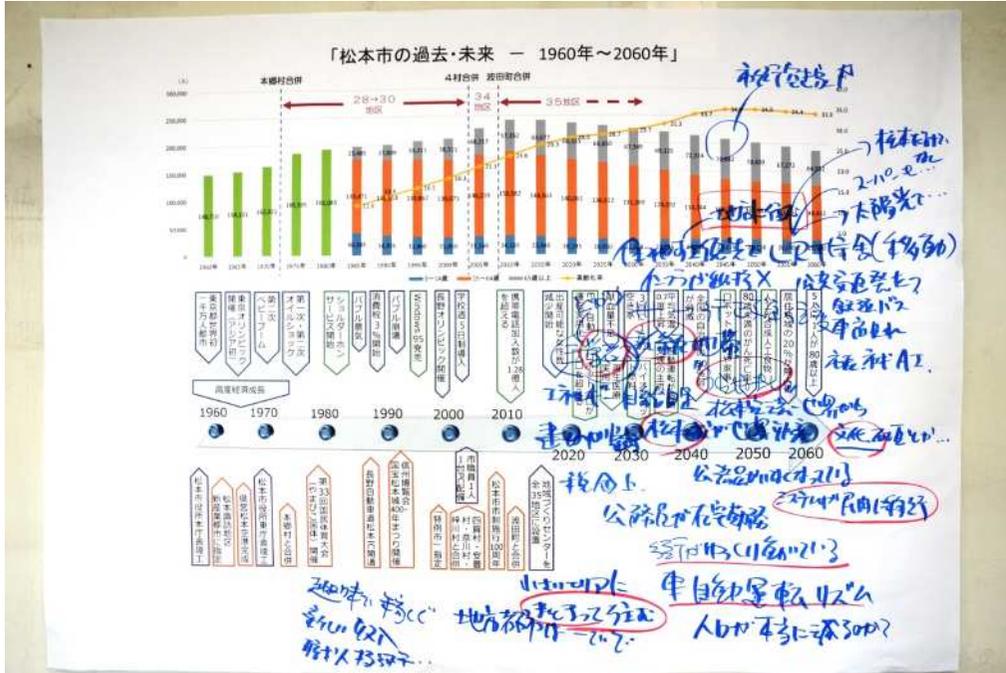
市役所に来ることがない
(中々くる)

観光スポットとしての庁舎

展望台からの眺めがよい

第1回市民ワークショップ(2018/01/27)

Fグループ



どのような新庁舎を建てるか? (How to build a new office building?)

700坪 (700坪) (700坪)

背景・理由 (Background/Reasons)

実現性 (Feasibility)

具体的な案 (Specific Plan)

実現性 (Feasibility)

具体的な案 (Specific Plan)

背景・理由 (Background/Reasons)

実現性 (Feasibility)

具体的な案 (Specific Plan)

背景・理由 (Background/Reasons)

実現性 (Feasibility)

具体的な案 (Specific Plan)

どのような新庁舎を建てるか? (How to build a new office building?)

700坪 (700坪) (700坪)

背景・理由 (Background/Reasons)

実現性 (Feasibility)

具体的な案 (Specific Plan)

どのような新庁舎を建てるか? (How to build a new office building?)

700坪 (700坪) (700坪)

背景・理由 (Background/Reasons)

実現性 (Feasibility)

具体的な案 (Specific Plan)

第1回市民ワークショップ (2018/01/27)

どのような新庁舎を建てるべきか? ④4棟目

背景・理由	コンセプト 実現したいこと	方法・空間
話し合いの場としての 新しい庁舎のありかた。	市民の声の反映と and 防災にも 市民サービス機能 議会とワークスペース。	7-9階までを 子供にも 行政機能と 効率的
	市民議事堂 象徴的ロビー	仮庁舎 複合庁舎 市民が寄れる食堂

緊急時防災
自治体、民間
新築田舎事務所

世田谷区、中野区、中野区
市役所が来るから
行政向機能か
市民サービス?

豊洲建設は効外
(専門部署)

どのような新庁舎を建てるべきか? ⑤5棟目

背景・理由	コンセプト 実現したいこと	方法・空間
1人1つの スペース...	市民の憩いの場 スペース ワークスペース 市民サービス場	屋上緑化 フリープレイス (新しい働き方)
	市民サービス(写真撮)	市民サービス/観光 市民サービス

自治体環境の
市民サービス
市民サービス

市民サービス(機能)の
議論が必要
真中の道開き可能?

Aグループ

どんな庁舎を建てるべきだと考えますか？(全体)

①全体を俯瞰して軸となる考え方・視点

将来を見据えた機能を果たすべき建物
 広域的なブロックの中心都市としての (新しいまちづくりの拠点)

②メインコンセプトとサブコンセプト

1 松本の歴史・文化を感じて暮らすランドマーク 多様性・変形・まるごと松本	住民も職員も誇りを持てる庁舎	
2 ハブ機能も備えた広域的な庁役所 本庁舎としての各支所の機能が重要(集中と分散) 支所での同じ機能を果たす	3 将来世代に負担がかけない庁役所 民間活用・連携 (広域)	4 高齢者・障害のある人も使える庁役所(バリアフリー) UDは当たり前
本庁舎には専門性 支所に機能を特化させる		5 市民も職員も新しい活動を始められるスタートアップ場になる キタ街 居酒屋・19-19-19の人 交流 起業物件

どんな庁舎を建てるべきだと考えますか？(サブコンセプト)

①サブコンセプトの背景・補足・関連情報

松本城が隣にあるため

②サブコンセプトと手段

多様性	三が都	まるごと松本
松本の歴史・文化を感じて暮らすランドマーク	花いっぱい運動	月見や心ら
自由自在に変形出来る執務スペース	農作物・特産物	

木口=環
市民が主役
市民 議会 市長の役割は違うが 協力連携が重要!

形に固執しない 現在地で動かさないことが歴史
古く新しいもある
いろいろあるのが松本の魅力!
ICT AIの発達
国営業務
業務のアウトソーシング
各支町村で出来ない仕事を代行する

どんな庁舎を建てるべきだと考えますか？(サブコンセプト)

①サブコンセプトの背景・補足・関連情報

今後中核市移行を目指している。

②サブコンセプトと手段

広域: 増	業務のアウトソーシング	各支町村で出来ない仕事を代行する
市内(支所)とのハブ 広域(町村部)とのハブ	ハブ機能も備えた広域的な庁役所	合庁の機能を備える
市各地区のセンター機能の強化	柔軟な連携体制	広域的な備え

ICT AIの発達
国営業務
業務のアウトソーシング
各支町村で出来ない仕事を代行する

どんな庁舎を建てるべきだと考えますか？(サブコンセプト)

①サブコンセプトの背景・補足・関連情報 A3

税金には 受着する人が多い
人口減・税収減

②サブコンセプトと手段

税収増 ←	企業誘致設備	移る(テナント、民間活用)
	将来世代に負担の少ない市役所	住民も 建設の段階から 交通拠点、バス・ミナル エビ
		ビジネス利用価値を高める

どんな庁舎を建てるべきだと考えますか？(サブコンセプト)

①サブコンセプトの背景・補足・関連情報 A4

旧式の庁舎のため、バリアフリーとできない。

※ユニバーサルデザインは きたり前

②サブコンセプトと手段 他の専門的意見は取り入れ

		各部署、機能ごとに色分け
	高齢者・障害のある方にも優しい市役所 バリアフリー	先進的な市役所 いいものEバツラウ(学ぼう)

どんな庁舎を建てるべきだと考えますか？(サブコンセプト)

①サブコンセプトの背景・補足・関連情報 A5

新しい活動をはじめる時に、相談する場所が分らない。

②サブコンセプトと手段

町交との連携 お茶室	レンタルオフィス 企業も	Iターン、Uターンの方の 起業、移住の窓口
出店スペース 出合いの場(指活)	市民も職員も新しい 活動が始まる スタートアップの場となる市役所	情報と手続の 一本化
居酒屋 かつ 食堂、眺めの良い	部署横断の コミュニケーションが 取れるオープンスペース パーティスペース	商工会議所機能 (起業の(策)のワンストップサービス)

どんな庁舎を建てるべきだと考えますか？(全体)

①全体を俯瞰して軸となる考え方・視点

自然と歴史に調和した
人成活きる庁舎

②メインコンセプトとサブコンセプト

	<p>基本城 イメージを定める 眺望</p>	<p>交流 公民館活動の中心機能(77棟の機能移転)</p>
	<p>適切な機能配置による機能強化 支所機能の充実(14ヶ所)を図る 連携を重視 本庁のあるべき機能を考える</p>	<p>歴史や自然を感じられる庁舎 各庁舎の個性を活かす 歴史や自然を感じられる庁舎 各庁舎の個性を活かす</p>
<p>危機管理 有事の際の対応機能(10ヶ所)を確保 11.7.7の事例を参考に検討(14ヶ所)</p>	<p>開かれた使いやすい庁舎 自然の風景(スーパ、商店) 駅前や公園と一体化させる W.不燃性能向上(14ヶ所)</p>	<p>自然環境 湧き水・活用 木をまかす</p>

交通の利便性
高層化の検討
中心部・支所化
人口減少
歴史や自然を感じられる庁舎
湧き水・活用
木をまかす
合気道・柔道・剣道
人口減少対策
歴史や自然を感じられる庁舎
湧き水・活用
木をまかす

どんな庁舎を建てるべきだと考えますか？(サブコンセプト)

①サブコンセプトの背景・補足・関連情報

適切な機能配置による機能強化

↓ 結果として (14ヶ所)
透明な200㎡以上 (14ヶ所)

本庁以外では、本庁と同じサービスを受けられる。

②サブコンセプトと手段

支所機能の充実を図る (14ヶ所)	窓口業務の分散 (14ヶ所) (機能移転・新設)	業務連携を重視
危機管理面でのバリエーション	機能分散	本庁のあるべき機能を考える
		時間の業務の合わせこまを初動とする。

どんな庁舎を建てるべきだと考えますか？(サブコンセプト)

①サブコンセプトの背景・補足・関連情報

歴史や自然を感じることができる庁舎

水・山岳(アピアス)・木

城(市民が守るべき)

②サブコンセプトと手段

		<p>城との調和 (新設14ヶ所・改修500㎡) - 町域に合わせたデザイン - 機能</p>
	<p>基本の良さを 生かせる庁舎</p>	
<p>湧き水・小川・水 手回し水 水を感じる空間 湧き水活用</p>		<p>市の建築と連携を促す (307年度) 新設14ヶ所 改修500㎡</p>

どんな庁舎を建てるべきだと考えますか？(サブコンセプト) B

①サブコンセプトの背景・補足・関連情報

②サブコンセプトと手段

		市民館は「その他(別館)」の2つを 庁舎は「(建設)場内」に
	<h2 style="margin: 0;">危機管理</h2>	
Wi-Fi整備(全体) 有線LAN(情報)スポット提供の 対応		有線LAN拠点機能は「Wi-Fi」で (1つ機能は必要) ソフトウェア面 交換機は機能 現在の庁舎に 機能は移行

どんな庁舎を建てるべきだと考えますか？(サブコンセプト) B

①サブコンセプトの背景・補足・関連情報

開かれ 使いやすい 庁舎
人

②サブコンセプトと手段

Wi-Fi 情報 情報収集 交流	高齢化 人口減 企業減 サービス向上 (1つ+情報) 使いやすい	高齢者へのサービス向上 → 移動手段の限られた → 支所機能の充実化 (総合支所)
場所 サービス	誰もが使いやすい庁舎 → 市役所に来られなくなった 機能(サービス)を 使いやすく	高齢者へのサービス向上 → 前橋市 支所
時間 曜日 月23 (利用)	時間・曜日・月23 (利用) ライトスタイルを提供	公民館活動(全市)の情報収集 庁舎の活動は 全公民館のハブ機能 (情報交換機能)

ライフスタイルを超えて使いたい
 高齢者へのサービス向上
 情報収集(支所)

C 2A-7

どんな庁舎を建てるべきだと考えますか？(サブコンセプト)

①サブコンセプトの背景・補足・関連情報

市民ホール

②サブコンセプトと手段

広報機能 市民の理解 ・多言語 ・多言語	働きやすい職場 固定席 → 全席スペース ・WiFi ・トイレ	ホムとレポート プロパティへの投資
観光対応 ・多言語対応 ・ICカード	コミュニケーションの場 ・シェアリング ・共有スペース ・共有スペース ・共有スペース	情報発信 ・シェアリング ・共有スペース ・共有スペース
案件システムの導入 ・システム(ワークスペース) ・システム	共有スペース ・共有スペース ・共有スペース	・情報発信 ・共有スペース ・共有スペース ・共有スペース ・共有スペース

C 2A-7

どんな庁舎を建てるべきだと考えますか？(サブコンセプト)

①サブコンセプトの背景・補足・関連情報

時代の当然の流れ

②サブコンセプトと手段

省スペース ・多言語対応	省エネ ・省エネ ・省エネ	長寿命化 ・長寿命化
蓄エネ	環境配慮	太陽光発電 ・太陽光 ・太陽光
交通対策 ・交通対策 ・交通対策	景観への配慮 ・景観への配慮	・景観への配慮

③ ① ② ③
① ② ③
① ② ③
① ② ③
① ② ③

① サブコンセプトの背景・補足・関連情報

誰でも利用でき集える。

② サブコンセプトと手段

市職員が働きやすい オフィス機能 → 市民にとっても よい効果を生み出す	現代人としても 納得	ユニバーサルデザイン ・段差がない。手すりも自由に動かせる。組むことも 奥行き 階段階段の利便性 1階の広さ、音響の付随 → 採光効果も 2階の広さ、音響の付随	採光・段差 ・車いす利用が出来る 組むことも 採光効果も 音響の付随 → 採光効果も 2階の広さ、音響の付随
自然エネルギーの利用 ・太陽光発電 蓄電 ・地下水	左倉として 揃えるべき機能		採光効果も 音響の付随 → 採光効果も 2階の広さ、音響の付随
自然エネルギーの利用 ・太陽光発電 蓄電 ・地下水	防災機能 ・採光を避難所として活用する (この機能は備わっている) ・備蓄品 ・情報が入ってくる仕組み ・地下の活用、緑のルーフ		採光効果も 音響の付随 → 採光効果も 2階の広さ、音響の付随

どんな庁舎を建てるべきだと思いますか？(サブコンセプト) F-5

①サブコンセプトの背景・補足・関連情報

伝わりたくない
訴える場がない

公民館が使いづらい
こみかた
議論の入口があまりに高い

②サブコンセプトと手段

申請(使用)に電子化	プレゼンテーションする場	情報発信する場
市民が動しやすい場	市民議事堂	ワークショップする場
オープン	議論する場	学ぶ場

議員の集会はここやる必要がある

直接民主制

どんな庁舎を建てるべきだと思いますか？(サブコンセプト) F-6

①サブコンセプトの背景・補足・関連情報

②サブコンセプトと手段

		地場産材
信大工学部の知恵	経済的に自立	民間の良本モデルにするもの
地下水利用	維持費に全口出し	断熱材 - 木材7割 - 地産のもの(運搬費削減)

実験的先進的モデル

F-2

どんな庁舎を建てるべきだと思いますか？(全体) F-2

①全体を俯瞰して軸となる考え方・視点

松本城の隣に立地を活かす

②メインコンセプトとサブコンセプト

木造 (坂幸平...)	かわら風 太陽光パネル	屋上緑化
奇抜な色	お城と調和	公園・広場
見本目三の丸	civic pride 市民の誇り	分業 三日月の堂の調和

F-3

どんな庁舎を建てるべきだと思いますか？(サブコンセプト) F-4

①サブコンセプトの背景・補足・関連情報

②サブコンセプトと手段

風呂	耐震・耐火	緊急時に自立 蓄電・貯水・発電
広場	防災拠点	倉庫機能 (大型車両が入る)
地中熱	中心機能 指示系統	地下水利用施設 (自己消火)

どんな庁舎を建てるべきだと思いますか？(サブコンセプト) F-B

①サブコンセプトの背景・補足・関連情報

中央集権的・管制的

②サブコンセプトと手段

オフィスの機能は 郊外に	仮庁舎の 有効利用	住民票・戸籍は どこでもなん
	機能分散	中央管理気質 から
	機能的仕事の派	図書館・小中学校 支所の複合施設

新庁舎のコンセプトに繋がるキーワードについて

市民や職員から得られた意見等から、新庁舎のコンセプトに繋がるものとして、次のキーワードを抽出・整理しました。

区分	
キーワード	説明等
行政サービスの場として	
入りやすく、気持ちの良い場	気軽に入れる 入りやすい雰囲気 来庁者に分かりやすく 誰にでも開かれた場所
誰にでも使いやすい見える化	ユニバーサルデザイン 誰にでもやさしい 弱者、少数派への配慮 サービスを受ける人にとって一番良いデザインと機能の配置
効率的にサービスを受けられる	ワンフロアサービス、ワンストップサービス たらい回しをされない 多様な情報支援（地域情報の“まとめサイト”的な存在）
松本らしく	
松本城との調和	松本城隣接の立地を生かす 眺望・景観 松本城との調和 松本の歴史・文化を感じさせる 観光資源の一つになり得る 観光客にも親しまれる
人が自然と集まる	人と人との交流、繋がりが芽生える 用事がなくても来やすい 誇りを持てる 内と外の中間的空間 まちと人の接続装置（インターフェース、ハブ機能）
松本固有の自然環境を生かす	エネルギーの効率的利用（ZEB：ゼロエネルギービル） 省エネ・蓄エネ・創エネ 災害時でも自立できるエネルギー 自然エネルギーの活用 松本産材の活用 自然を生かす・自然と触れ合う（湧水・木）

これからの市役所像	
市民と行政の共創・協働の場	<p>コミュニケーションが高まる (市民×職員、企業×職員、職員×職員など) 市民議事堂(対話する場所) イノベーションを起こす コワーキングスペース スタートアップの場 PPP(公民連携)する場 議会スペースの多目的利用(ホール等)</p>
地域重視の機能分散	<p>超高齢社会における交通弱者への配慮を重視 「コンパクト&ネットワーク」の構想に、市役所自身も貢献を 行政サービスを提供する視点で、効率的なサービスを可能にする組織へ見直し 市民の身近な場所でのサービスを充実すれば、庁舎はコンパクトになる (現地機能の充実、連携) 本庁舎は専門性。現地機関に権限を与える 本庁職員の現地機関への配置転換</p>
新たな時代のオフィス像	<p>職員にとっての働きやすさが、良い市民サービスにつながる 労働環境のあり方を社会に示す フリーアドレス 仕事の仕方を見直す (例)会議のあり方を見直しが、会議・打合せスペースの見直しにつながる ペーパーレス化でスペースを確保 ICT、AI等の技術を積極活用することで、効率的な行政サービスとスペースを生み出す</p>
リスクに備える	
災害に強く、災害に即応	<p>松本市の今後30年間の地震発生確率は、震度6強以上が17.1%、震度6弱以上が30.8%であり、震災リスクが高いことを認識 水害も想定され、対策が必要 市役所(本庁)は、市全体の災害対応指令所の役割を果たす場所 リスク分散(サブ拠点の設置)、行政機能の分散配置</p>
情報(個人・行政)の保護	<p>市民の情報を預かる場として、安全安心な情報管理 職員の退庁時に机上に何も残さない</p>
物理的なセキュリティの確保	<p>市民が頻繁に立ち寄るエリア(フロア)とそうでない場所を分離することで、無用なリスクを避けられ、また、市民にとって行先もわかりやすくなる。 オープンとセパレート</p>

将来のために	
フレキシブル(flexible:柔軟性がある、融通のきく)	内部の配置を自由に変えられ、柔軟に変化する。 減築や建替え可能なことも柔軟性 修正の可能性を保持(分築)
サステナブル(sustainable:持続可能な、維持できる)	100年、200年使える建物 ↓ (注)「いつでも壊せるように」という意見あり
ライフサイクルコスト[life cycle cost:建物の生涯に(全期間を通じて)要する費用]の低減	長い目で見てお財布にやさしい 維持管理、修繕しやすく 仮庁舎を仮にせず有効活用 民間資金の有効活用 フロアの有効活用(テナント・民間参入)
コンパクト(compact:小さくまとめること、小さくて経済的)	ムダがなく 人口減少社会を見据える

議会施設について	
市民とともに議会権能を十分に発揮できるものであること。	平成29年12月7日 松本市議会からの要請事項

今後の予定について

日 程	内 容
29年度	
3.13	市議会新庁舎建設特別委員会
30年度～	
上半期	市議会、市民懇話会、パブリックコメント、市民説明会等を通じ、 新庁舎建設基本構想（骨子）を協議
	新庁舎建設基本構想策定
以降	新庁舎建設基本計画の策定に向けた作業に着手 （策定は31年度を予定） 市民懇話会を随時開催